

# 教育課程

(平成31(2019)年度以降の入学生適用)

# カリキュラム編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与方針に掲げられた能力の獲得を効果的に実現するために、下記の方針に基づき教育課程を編成します。

1. 社会人として必要な知識、マインド、技能、コミュニケーションスキルを身につけるために、全学部の学生が履修する「全学共通科目」を設置します。  
「全学共通科目」の履修によって、外国語能力、情報処理能力、論理的思考力、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力、一般教養等の修得を目指します。
2. 学部・学科における専門的知識を身につけるために「学部専門科目」を設置します。ここでは、段階的に専門性を高めた授業科目を配置します。  
これらの履修によって、それぞれの学問の体系的な修得を目指します。
3. 知識教養の修得を目指した講義科目を配置するとともに、統合的な学習経験と創造的思考による判断力を養うために、演習・実習科目を配置します。  
これらの履修によって、チームワークやリーダーシップ、コミュニケーションスキルを高める実践能力や深く多様な視点で物事を見抜き、現代社会を生き抜く力、問題解決力を養います。
4. 資格科目として「教職に関する科目」「図書館に関する科目」「司書教諭に関する科目」「博物館に関する科目」「社会調査士に関する科目」を設置します。  
これらの履修によって、職業に結びつく能力を獲得し、社会に貢献します。

## ■文学部

前期課程においては、学問分野についての基礎的な知識と全体的な視野を学ぶ「総論」、後期課程においては、専門性を高めるために様々な対象や領域を取りあげて考える「各論」、またそれぞれの学問分野における個別のテーマに焦点を当てて探究する「特殊講義」、同時に人文学・文化表現学・コミュニケーション文化学・臨床心理学に共通する専門科目として「文学部共通専門科目」を配置し、これらを学ぶ課程で、広く人間に関する学識や表現力を養います。

また、作品制作、文章表現、実験・臨床等の技能・知識の修得のために、前期課程においては「基礎実習」「実習」「基礎演習」、後期課程においては「特殊演習」「演習」を学びます。

あわせて、専門的に学問分野を深めるために、前期課程に学問の基本的な手法を学ぶ「研究入門」、後期課程に少人数によって調査・研究・発表の手法を学ぶ「演習」を配置します。この科目において、みずから設定した当該分野に関わる主題によって研究を深め「卒業論文・卒業研究」にまとめることで、課題を探究する思考力や表現力を修得することを目標とします。

### (1) 人文学科

日本・東洋から西洋までを視野におさめつつ、日本文学、創作・表現、日本史、西洋史、美術史、総合文化、現代思想・社会、国際教養に関する学識を深めます。これらの分野は本学の人文学科のカリキュラムの中心となるものです。

具体的には、1～2年の前期課程ではたとえば日本文学概論、創作論、日本史概説、西洋史概説、日本美術史、比較文化概論、哲学概論、国際関係学など「総論」を中心に学修し、3～4年の後期課程では「各論」や「特殊講義」等を履修して、より専門的な知識を深めます。たとえば、各論では近代日本文学、日本語文章表現、日本文化史、西洋文化史、東西美術交流、女性と文化、現代思想、多文化社会と民族問題などの授業が履修できます。

また、2年次には必修科目として上記の各分野に関する「人文学研究入門」を履修し、問題を論理的に分析したり、自己の意見を表現する訓練を行います。3～4年次にはそれをさらに発展させた「人文学演習」を履修し、卒業論文・卒業研究を作成します。

さらに、4年間を通して国語、書道、美術の教職及び学芸員資格の取得に必要な講義科目や実習

科目を履修することができます。

## (2) 現代文化表現学科

前期課程においては、専門分野の基礎的な知識を学びます。また「文化表現基礎論」や「現代文化概論」で読み解く力を身につけ、同時に文化表現の全体像を把握する基礎力を修得します。

後期課程では、より専門的な知識を深めるための「映像論」や、より高度なスキル獲得を目的とする「デジタル表現実習」「アート&デザイン実習」「ライティング特殊演習」で、文化表現について多角的に考察し自ら表現する力を修得するとともに、「現代文化表現学演習」を履修し、卒業論文・卒業研究を作成します。

## (3) コミュニケーション文化学科

前期課程では、「コミュニケーション文化概論」「コミュニケーションの倫理」などの総論科目を通してコミュニケーションの課題についての基礎的な知識を身につけます。日英両言語の「コミュニケーションスキル（会話）」で言語の運用能力の基礎を固めるとともに、日英両言語およびコミュニケーション理論の3分野から選択して学ぶ「研究入門」により、学生各自が興味ある分野を探求する土台をつくり、後期課程での学びに接続することができます。

後期課程では、コミュニケーションの多様な世界をより専門的に扱う「各論」や、日英両言語の高度な運用能力の獲得を目的とする「実践日本語」「実践英語」を学びます。「アナウンス」「インタビュー」「ナレーション」などは、声を使う職業をめざす際に必要な専門技能を身につける実習科目です。さらに「手話」「点字」などを学ぶことで、多様な背景をもつ人々とのコミュニケーション力をつけることができます。日英両言語およびコミュニケーション理論の3分野から選択する「演習」では学生が能動的に授業に関与・運営することにより、他者との協力を通じた問題解決能力を獲得するとともに、卒業研究・卒業論文を完成することを通じて、社会で活躍する際に必要な文章力やプレゼンテーション力を身につけることができます。

## ■ マネジメント学部

前期課程では、学問の概要と基礎を学ぶために、「学部共通専門科目」、および企業、公共、文化、生活環境分野の「基幹科目」を配置します。

「学部共通専門科目」の「実践ゼミナール」「インターンシップ」の履修により、実践的なマネジメントの技能を学ぶと共に、後期課程に向けて学ぶべき目標や課題を明らかにします。

後期課程では、専門性を高めるために、企業、公共、文化、生活環境分野の「展開科目」を配置します。「展開科目」の履修によって、学問の体系的修得を目指すとともに、解決すべき課題を自ら発見し、その解決策を提案することができる能力の修得を目指します。

後期課程で身につける知識を実践的に展開し、専門領域における創造的思考力・課題解決力・表現力を身につけるために、3年次および4年次に「演習」を配置し、また、自らが発見する課題に対する解決策を提案することにより、論理的思考力と課題解決力を身につけるために、4年次に「卒業論文・卒業研究」を配置します。

## (1) マネジメント学科

前期課程では、必修の「マネジメント学入門」を通して、マネジメントに関する基礎知識を学びます。そして「実践ゼミナール」「インターンシップ」の必修科目の履修により、後期課程での企業、公共、文化のいずれかの専門領域の選択および学ぶべき目標や課題を明らかにします。

後期課程では、企業、公共、文化の専門領域におけるより具体的かつ専門性の高い展開科目とともに、経営、経済、文化、行政、法律など広範な分野を学習します。また、「展開ゼミナール」の履修により、後期課程で身につける知識を具体的課題との関連において深化させ、マネジメントを担うための実践的技能を修得します。また、「卒業論文・卒業研究」を通じ、論理的思考力と課題

解決力を身に付けます。

## (2) 生活環境マネジメント学科

前期課程では、衣食住や社会生活、環境問題の基礎知識を身につけます。特に「生活環境入門」「衣生活と環境」「食生活と環境」「住生活と環境」では、後期課程に続くこれらの分野の創造的思考力、課題解決力、表現力の基礎を十分身につけます。必修科目である「実践ゼミナール」「インターンシップ」の履修により、実践的なマネジメントの技能を学ぶと共に、後期課程に向けて学ぶべき目標や課題を明らかにします。

後期課程では、衣食住、社会生活、環境の分野ごとの展開科目から、学生が希望する専攻分野を中心に幅広く学び、快適な生活と持続可能な社会の実現に貢献するための専門知識を身につけます。

「生活環境マネジメント学演習」の履修により、後期課程で身につける知識を実践的に展開し、専門領域における課題解決を進める応用力、創造的な思考力、実践的な提案力を身につけます。また、「卒業論文・卒業研究」を通じ、論理的思考力と課題解決力を身に付けます。

## ■観光コミュニティ学部

観光コミュニティ学部は、学識の修得を段階的に進めるために、学問の概要と基礎を学ぶ「基幹科目」を前期課程に配置し、後期課程において専門性を深化させた「展開科目」「特殊講義」を配置します。

また、実践的な技能の修得を目的に、基本的な能力を学ぶ「基礎ゼミナール」を前期課程に配置し、後期課程では専門的な技能を身につける「特殊演習」「実習」を配置します。

さらに、観光、コミュニティの各分野における諸問題を発見し、解決するアイデアを創出・提案する能力の修得を目指す「演習」を配置します。

### (1) 観光デザイン学科

観光デザイン学科は、観光デザインの学識や実践的な技能、社会において実際に発揮できる観光デザイン能力、観光に関連する各種業界が抱える問題を発見し、解決する能力を段階的に身につけられるように、前期課程において、観光及び観光事業に関する「観光学入門」など3つの必修科目から構成される「基幹科目」を学び、さらに「基礎ゼミナール」と「学外実習」を通じて実践力を身につける第一歩を刻みます。

後期課程では、「展開科目」「特殊演習」「実習」などによって観光に関連する各分野の専門的知識を身につけ、観光デザイン力や観光関連業界で活躍するための技能、観光関連業界が抱える問題に対する解決力を身につけます。また、「観光デザイン演習」において、専門的知識を実践的に活用し、応用力、創造的な思考力、提案力を身につけます。それとともに卒業論文・卒業研究への取り組みを通じて論理的思考力と課題解決力、プレゼンテーション能力を身につけます。

### (2) コミュニティデザイン学科

コミュニティデザイン学科は、問題解決学習、グループ・ディスカッション等の能動的な授業形式を積極的に取り入れつつ、前期課程では「社会学入門」などの「基幹科目」によって、現代コミュニティが直面しているさまざまな問題を理解するための知識を学び、さらに「基礎ゼミナール」と「学外実習」を通じて、それらの問題に対する解決策を提案する能力の修得へ向けた、第一歩を刻みます。

後期課程においては、「展開科目」「特殊講義」「特殊演習」によって現代コミュニティに関する専門的な知識と、実践的なコミュニケーション力・コーディネート力を身につけます。さらに、「演習」を通じてコミュニティの抱える課題への解決策を提案し、実現できる能力を養います。また、「社会調査士課程」を通じて、社会事象を科学的に調査・分析する能力を身につけます。それとともに、「卒業論文・卒業研究」を通じ、それまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる能力と、自律し自立した学習をする能力を身につけます。

## ■心理学部

### 臨床心理学科

心理学部臨床心理学科のカリキュラムポリシーは、臨床系、発達・教育系、社会系、実験系等の心理学の幅広い領域に関する学識を修得するのに必要な講義科目と、実践的な技能を養う演習科目や実習科目を配置することとし、それを詳細に記載したものが以下のとおりである。

前期課程（第1～第4セメスター）においては、〈総論〉（「心理学概論」「臨床心理学概論」「教育・学校心理学」等）のほか、〈研究入門〉（「心理学統計法」）、〈実習〉（「心理学実験」）を通して、基礎・実験系、発達・教育系、社会系、医療系等の心理学の各領域の概観を捉え、心の科学への基本姿勢を身につける。

後期課程（第5～第8セメスター）では、〈各論〉の心理学的理論と方法、心理学の諸領域、心理学的支援の理論、技法、研究、実践の場に関する理論と方法、心理学隣接諸領域、に関する科目を通して、さらにその理解を深め技能を高める。

臨床心理学の実践力（問題解決能力、人間尊重の姿勢、倫理観、協働の精神など）については、前期課程で得た知識・技能を踏まえて、〈実習〉〈特殊演習〉〈演習〉を通して修得する。

全学共通科目前期課程の情報処理科目、演習科目などで身につけた情報リテラシー、プレゼンテーション能力は、後期課程学科専門科目〈演習〉〈卒業論文・卒業研究〉へとつないでゆく。

前期課程から後期課程を通して配置されている実習、演習科目では、心の現象、心身の健康に対する興味・関心に基づいて、課題を見出し、課題の解決に向けて見通しを立て調整していく自己管理能力、協調性、倫理観などを養う。

# 教育課程

大学を卒業する（学士の学位を取得する）ためには、4年以上在学し、所定の単位を修得しなければなりません。本学の教育課程では、基礎から専門へと積み重ねて修得していくことができるように、教育課程を前期課程（1・2年次）と後期課程（3・4年次）に分け、前期課程から後期課程に進級するための条件を定め、この要件を満たさないときは、もとの学年次に留まる進級制度をとっています。

なお、修業年限は「学則第八条」に定めるとおり、前期課程2年と後期課程2年に分け、それぞれの課程において4年を超えて在籍することはできません。

## (1) 単位と授業

「単位」とは、「一定の学修量」を示すもので、1単位についての基準は『大学設置基準』第二十六条第二項により、「四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成すること」が標準とされています。本学においても「学則第十九条」においてこれを定めています。なお、下記に示す通り、四十五時間の学修のうち授業に求められる時間数が、授業の方法によって異なるので、同じ時間数の授業を受けても与えられる単位数は異なることがあります。

### ①講義科目

15時間の授業と30時間の自習をもって1単位とするので、週1時限（2時間、本学においては90分）、1 Semester 15週をもって2単位を与える。

### ②外国語・講読・演習科目

30時間の授業と15時間の自習をもって1単位とするので、週1時限（2時間、本学においては90分）の場合は、1 Semester 15週をもって1単位を与える。

週2時限（4時間、本学においては90分を2回）の場合は、1 Semester 15週をもって2単位を与える。

### ③実験・実習・実技科目

30～45時間の授業と15～0時間の自習をもって1単位とするので、週1時限（2.5時間、本学においては110分）、1 Semester 15週をもって1単位を与える。

【本学における授業時間は、火曜日～土曜日については上記の通りとなりますが、月曜日については、

①講義科目②外国語・講読・演習科目については、週1時限105分、

③実験・実習・実技科目については、週1時限130分となり、1 Semester 13回の授業を実施します。】

## (2) 開設科目の種類

本学で開設されている科目は、「全学共通科目」および「学部専門科目」です。なお、本学文学部人文学科には、別に「教職に関する科目」、「図書館に関する科目」、「司書教諭に関する科目」、「博物館に関する科目」、観光コミュニティ学部には「社会調査士課程」が開設されています。（「資格取得課程」の項を参照のこと）

## (3) 卒業の要件

卒業に必要な単位数は、文学部、マネジメント学部、観光コミュニティ学部、心理学部ともに全学共通科目58単位、学部専門科目66単位、合計124単位で、次のとおり前期課程においては、「全学共通科目42単位」「学部専門科目20単位」、後期課程においては、「全学共通科目16単位」「学部専門科目46単位」を修得しなければなりません。



なお、前期課程および後期課程において修得すべき所定の単位数については、次表を参照してください。

	全学共通科目	学部専門科目
前期課程	42単位	20単位
後期課程	16単位	46単位
合計修得単位	58単位	66単位
卒業要件	124単位	

## (4) 前期課程修得要件

### ①進級

前期課程では、全学共通科目および学部専門科目について次表の要件を含み、単位を修得します。なお、全学共通科目については、全学部全学科ともに同じ修得要件となっています。

前期課程に2年以上在学し、前期課程の修得要件を満たした者は、後期課程に進級できます。前期課程から後期課程に進級する時期は、3年次の初めです。進級するための修得要件は次表のとおりです。

### 【全学共通科目・前期課程進級要件】〈全学部共通〉

科目区分	修得単位数
外国語科目	16単位以上
情報処理科目	2単位以上
導入科目	2単位
教養科目	10単位以上
共通専門科目	選択
社会人形成科目	3単位以上
体育実技科目	選択
合計修得単位	42単位以上 42単位を超えて修得した単位を後期課程の全学共通科目の単位として算入することはできない。

**【文学部専門科目・前期課程進級要件】〈文学部〉**

科目区分	人文学科 修得単位数	現代文化表現学科 修得単位数	コミュニケーション文化学科 修得単位数
文学部共通専門科目	選 択	選 択	選 択
総 論	8単位以上	8単位以上	6単位以上
研 究 入 門	4単位	4単位	4単位
基 礎 実 習	選 択	選 択	
基 礎 演 習			2単位
実 習			
文学部全学科 合計修得単位	上記要件を含み20単位以上 なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。		

**【マネジメント学部専門科目・前期課程進級要件】〈マネジメント学部〉**

科目区分	マネジメント学科修得単位数	生活環境マネジメント学科修得単位数
マネジメント学部共通専門科目	6単位以上	6単位以上
基 幹 科 目	6単位以上	6単位以上
マネジメント学部全学科 合計修得単位数	上記要件を含み20単位以上 なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。	

**【観光コミュニティ学部専門科目・前期課程進級要件】〈観光コミュニティ学部〉**

科目区分	観光デザイン学科修得単位数	コミュニティデザイン学科修得単位数
観光コミュニティ学部共通専門科目	選 択	選 択
基 幹 科 目	10単位以上	10単位以上
演 習	2単位	2単位
資 格 科 目		選 択
観光コミュニティ学部全学科 合計修得単位	上記要件を含み20単位以上 なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。	

**【心理学部専門科目・前期課程進級要件】〈心理学部〉**

科目区分	臨床心理学科修得単位数
総 論	12単位以上
研 究 入 門	2単位
実 習	2単位
心理学部 合計修得単位	上記要件を含み20単位以上 なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。



## ②仮進級

進級要件を満たしてはいないが、前期課程に2年以上在学し、全学共通科目と学部専門科目の合計で、進級要件のうち60単位以上修得している者（進級要件で定められた必要単位数を満たす上で不足する単位数が2単位以下の者）に対しては、学長が仮に進級することを許可することがあります。ただし、前期課程として認められる在学期間が満了した者は、除籍となります。

仮進級が認められた者の後期課程における履修は、進級が認められた者と同等です。ただし、前期課程として認められる在学期間中に前期課程科目を修得しなければなりません。この期間に修得できなかった場合、除籍となります。

仮進級を許可された者がこれを辞退するときは、教務部長が定める期日までに仮進級辞退届を提出しなければなりません。

## (5) 後期課程修得要件

後期課程では、全学共通科目および学部専門科目について次表の要件を含み、単位を修得します。なお、全学共通科目については、全学部全学科ともに同じ修得要件となっています。

後期課程に2年以上在学し、前期課程と後期課程の修得要件を満たした者は、卒業することができます。

## 【全学共通科目・後期課程修得要件】〈全学部共通〉

科目区分	修得単位数
外国語科目	選択
情報処理科目	選択
教養科目	4単位以上
共通専門科目	選択
社会人形成科目	1単位以上
総合科目	選択
合計修得単位	16単位以上 前期課程の全学共通科目を算入することはできない。

## 【文学部専門科目・後期課程修得要件】〈文学部〉

科目区分	人文学科 修得単位数	現代文化表現学科 修得単位数	コミュニケーション文化学科 修得単位数
文学部共通専門科目	選択	選択	18単位以上
各論	16単位以上	16単位以上	
特殊講義	10単位以上	6単位以上	2単位以上
特殊演習		4単位以上	4単位以上
実習			2単位以上
演習	4単位	4単位	4単位
卒業論文・卒業研究	2単位	2単位	2単位
文学部全学科 合計修得単位	上記要件を含み46単位以上 なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び学部共通専門科目並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、人文学科においては、後期課程生として修得した前期課程の総論6単位を含めることができる。		

**【マネジメント学部専門科目・後期課程修得要件】〈マネジメント学部〉**

科目区分	マネジメント学科修得単位数	生活環境マネジメント学科修得単位数
マネジメント学部共通専門科目	26単位以上	26単位以上
展開科目		
演習	4単位	4単位
卒業論文・卒業研究	2単位	2単位
マネジメント学部全学科 合計修得単位数	上記要件を含み46単位以上 なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び学部共通専門科目並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。	

**【観光コミュニティ学部専門科目・後期課程修得要件】〈観光コミュニティ学部〉**

科目区分	観光デザイン学科修得単位数	コミュニティデザイン学科修得単位数
観光コミュニティ学部共通専門科目	選択	選択
展開科目	24単位以上	16単位以上
特殊講義		8単位以上
特殊演習	1単位以上	2単位以上
実習	1単位以上	
演習	4単位	4単位
卒業論文・卒業研究	2単位	2単位
資格科目		選択
観光コミュニティ学部全学科 合計修得単位数	上記要件を含み46単位以上 なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び学部共通専門科目並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。	

**【心理学部専門科目・後期課程修得要件】〈心理学部〉**

科目区分	臨床心理学科修得単位数
各論	24単位以上
特殊演習	1単位以上
実習	
演習	4単位
卒業論文・卒業研究	2単位
心理学部 合計修得単位数	上記要件を含み46単位以上 なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。

## (6) 履修登録単位数

進級又は卒業に必要とする単位を修得することになる授業科目を、履修科目として履修登録しなければなりません。一学期ごとの単位数の総計（登録総単位数）は次表のとおりです。

	下 限	上 限	ただし、小数点以下は切り捨てるため、登録申請する際の単位数の上限は、1学期ごとに22単位とする。
前 期 課 程	15単位	22単位	
後 期 課 程	8単位	22単位	

※登録総単位数の下限は、進級または卒業の見込みの立つ単位数をもって下限とすることができる。

※通年科目は、春学期と秋学期に均等に分割して登録総単位数に算入する。

※集中講義科目（夏季休業日・冬季休業日及び春季休業日等に実施される授業科目）は、登録総単位数には含めない。

※教職・司書・司書教諭・学芸員の資格課程科目は含めない。

※他学部・他学科の専門科目を履修登録する場合は、登録総単位数に含める。

※他の大学等との間で締結した協定に基づく授業科目の履修は、本学における履修科目の登録とみなし、登録総単位数に含める。

※前期課程生である後期課程開設科目の履修許可者の後期課程開設科目の履修登録単位数は、「原級留置となった前期課程生の後期課程科目履修及び単位認定に関する規程」を参照すること。

※後期課程生が卒業要件に含まれない前期課程開設科目を履修登録する場合は、登録総単位数に含めない。  
なお、進級要件を満たす必要から、仮進級許可者は前期課程開設科目を履修登録する場合は、登録総単位数に含める。

## (7) 他学部・他学科の専門科目の履修

1. 他学部の専門科目の履修	前期課程においては4単位、後期課程においては8単位を上限に、自学部・自学科の専門科目として卒業要件に含めることができる。
2. 自学部他学科の専門科目の履修	上記の他学部専門科目の単位とあわせて、前期課程においては8単位、後期課程においては14単位を上限に、自学部・自学科の専門科目として卒業要件に含めることができる。

**【当該学部学科に所属する学生の履修を優先させ、他学部他学科生等の履修を制限することができる科目】**

開設学部	学 科	科目区分	授業科目
文学部	人文学科	研究入門	人文学研究入門A～L
		演習	人文学演習IA・IB・IIA・IIB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
	現代文化表現学科	研究入門	現代文化表現学研究入門A～H
		演習	現代文化表現学演習IA・IB・IIA・IIB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
	コミュニケーション文化学科	研究入門	コミュニケーション文化研究入門A～F
		演習	コミュニケーション文化演習IA・IB・IIA・IIB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
マネジメント学部	マネジメント学科	共通専門科目	実践ゼミナールA・B インターンシップ
		演習	展開ゼミナールIA・IB・IIA・IIB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
	生活環境マネジメント学科	演習	生活環境マネジメント学演習IA・IB・IIA・IIB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
		共通専門科目	観光コミュニティデザイン実践
観光コミュニティ学部	観光デザイン学科	演習	基礎ゼミナール（観光） 観光デザイン演習IA・IB・IIA・IIB
		実習	キャビンアテンダント（CA）実習 ホテルマネジャー・女将実習
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
		共通専門科目	観光コミュニティデザイン実践
	コミュニティデザイン学科	演習	基礎ゼミナール（コミュニティ） コミュニティデザイン演習IA・IB・IIA・IIB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
		資格科目	社会調査実習Ⅰ・Ⅱ
心理学部	臨床心理学科	研究入門	心理学統計法
		実習	心理学実験
			健康心理アセスメント実習
			心理実習A・B・C
		特殊演習	心理演習
		演習	臨床心理学演習IA・IB・IIA・IIB
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究		

# I. 全学共通科目の履修

全学共通科目は、全学部の学生が履修することができます。ただし、「外国語科目」と「情報処理科目」、「導入科目」及び「社会人形成科目」については、クラス指定になります。

なお、同一科目名で開講されている科目については、1科目しか卒業に必要な単位とすることはできません。再度履修しても重複扱いとなります。

卒業に必要な全学共通科目の単位数は、前期課程42単位、後期課程16単位の所定修得単位数を含む58単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	外国語科目	16単位以上	A・B・Cコースいずれかの要件を満たしつつ、16単位以上修得する。 外国語科目「選択」区分から4単位までを必修単位として読み替えることができる。
	情報処理科目	2単位以上	情報リテラシーⅠ・Ⅱを含めて2単位以上を修得する。
	導入科目	2単位	
	教養科目	10単位以上	
	共通専門科目	選択	
	社会人形成科目	3単位以上	
	体育実技科目	選択	
前期課程合計修得単位		42単位以上	42単位を超えて修得した単位を後期課程の全学共通科目の単位として算入することはできない。
後期課程	外国語科目	選択	
	情報処理科目	選択	
	教養科目	4単位以上	
	共通専門科目	選択	
	社会人形成科目	1単位以上	
	総合科目	選択	
後期課程合計修得単位		16単位以上	前期課程の全学共通科目を算入することはできない。
合計修得単位		58単位以上	

全学共通科目課程表【前期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考		
外国語科目	A	英語A I a	2	16単位	1	春学期 秋学期	秋山まき子、阿部陽子、伊藤友美、井上真理、岩永祥恵、J.ウイット、梅垣代枝野、大木 富、小平昌子、影山なおみ、兼利琢也、川村由美、木下ひろみ	A・B・Cコースのいずれかを選択して、16単位修得する。なお、Cコースを選択した場合は、英語1～IVの8単位に加えて、フランス語1～IV、ドイツ語1～IV、中国語1～IV、朝鮮・韓国語1～IVのうち1つの外国語を選択し、8単位を修得する。外国語科目「選択」区分から4単位までを必修単位として読み替えることができる。	
		英語A I b	2		1				
		英語A II a	2		1				クリストファー・ブルスマス
		英語A II b	2		1				
		英語A III a	2		2				田村奈穂子、照山顕人、徳岡麻絵子、飛渡 洋、富澤典子、中尾正史
		英語A III b	2		2				西田晴美、野上文子、G.L.ハッシー、K.ビーゲル、穂 邦維、堀 邦維
		英語A IV a	2		2				本多幸七郎、峰松和子、宮本和茂、村越麻子
		英語A IV b	2		2				山本三穂、山本雄一郎、吉崎 圓、吉田信夫、米川聖美、陸田絵里子、P. レイツ、M.ワークマン
	B	英語B I a	2		1	春学期 秋学期	責任者：西田晴美 R. トマクデル G. キャンベル G. ライサネン S. フェルナン T. ユー		
		英語B I b	2		1				
		英語B II a	2		1				
		英語B II b	2		1				
		英語B III a	2		2				
		英語B III b	2		2				
		英語B IV a	2		2				
		英語B IV b	2		2				
	C	英語 I	2		1	春学期 秋学期	秋山まき子、阿部陽子、伊藤友美、井上真理、岩永祥恵、J.ウイット、梅垣代枝野、大木 富、岡田真弓、小平昌子、影山なおみ、笠原園子、兼利琢也、香山はるの、川村由美、木下ひろみ		
		英語 II	2		1				クリストファー・ブルスマス
		英語 III	2		2				小池知之、小暮正人、古田島綾子、小西正恵、榊原かをり、設楽靖子、清水雅夫、菅沼文子、鈴木武生、鈴木光代、瀬戸千尋、妹尾新太郎
		英語 IV	2		2				田村奈穂子、照山顕人、徳岡麻絵子、飛渡 洋、富澤典子、中尾正史、西田晴美、野上文子、G.L.ハッシー、K.ビーゲル、堀 邦維、本多幸七郎、峰松和子、宮本和茂、村越麻子、山本三穂、山本雄一郎、吉崎 圓、米川聖美、陸田絵里子、P. レイツ、M.ワークマン、渡辺玲子



区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考	
外国語科目	C	フランス語Ⅰ	2	16単位	1	春学期 秋学期	石井珠江、伊藤敬佑 神田浩一 ギューヴァランタン 坂本秀夫、篠原洋治 鈴木 暁、高尾 歩 中原暁彦	
		フランス語Ⅱ	2		1			
		フランス語Ⅲ	2		2			
		フランス語Ⅳ	2		2			
		ドイツ語Ⅰ	2		1	春学期 秋学期	阿部一哉、片岡慎泰 長谷川悦朗、早崎えりな フィッシャー大澤ユディット M. フライベルク R. ヘニング	
		ドイツ語Ⅱ	2		1			
		ドイツ語Ⅲ	2		2			
		ドイツ語Ⅳ	2		2			
		中国語Ⅰ	2		1	春学期 秋学期	石黒ひさ子、和富弥生 小路口ゆみ、佐和田成美 張 国璐、塚越千史 三宅登之、安本真弓 李 振溪、陸 偉栄 和田和子	
		中国語Ⅱ	2		1			
		中国語Ⅲ	2		2			
		中国語Ⅳ	2		2			
		朝鮮・韓国語Ⅰ	2		1	春学期 秋学期	李 在鎬、李 英蘭 家永祐子、魏 聖銓 荻野千尋、金 順任 金 秀美、金 恵珍 辛 大基、文 智暎	
		朝鮮・韓国語Ⅱ	2		1			
		朝鮮・韓国語Ⅲ	2		2			
		朝鮮・韓国語Ⅳ	2		2			
	選択	英語マルチメディアレッスン	1	選択	1・2	春学期 秋学期	マック、カレン	
		英語再入門A	1		2	春学期	兼利 琢也	
		英語再入門B	1		1・2	秋学期	中村 聡	
		英語リーディング	1		2	春学期	渡辺 玲子	
英語ライティング		1	1・2		秋学期	峰松 和子		
フランス語リーディング・ライティング		1	2		春学期	西田 晴美		
ドイツ語リーディング・ライティング		1	2		秋学期	峰松 和子		
中国語リーディング・ライティング		1	2		秋学期	坂本 秀夫		
朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	1	2	秋学期	阿部 一哉				
情報処理科目	情報リテラシーⅠ	1	2単位	1	春学期 秋学期	江藤 香、海津ヨシノリ 川端正弘、北久保茂 倉橋節也、黒田 涼 小久保秀之、近藤佐保子 柴田 徹、高瀬浩史 野村英登、福澤保裕 松田 洋		
	情報リテラシーⅡ	1		1				
	画像処理基礎演習	1	選択	1・2	春学期	田辺公一朗		
	We b制作	1		1・2	春学期 秋学期	黒田 涼 柴田 徹		
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1		1・2	春学期	海津ヨシノリ		
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1		1・2	春学期 秋学期	伊藤 稜 海津ヨシノリ		
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1		1・2	春学期 秋学期	倉橋 節也 黒田 涼		

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考	
導入科目	プロゼミⅠ	1	2 単位	1	春学期 秋学期	赤松瑞枝、阿部一哉 天海 弘、新井 雅 新垣夢乃、石塚正敏 石渡尚子、泉 雅博 磯貝政弘、植田恭代 小川 忠、小栗貴弘 小関孝子、鍵屋 一 加藤大鶴、要真理子 加美甲多、神山伸弘 禿あや美、川島京子 河村英和、許 伸江 剣持あずさ、小坂橋靖夫 郷香野子、小仲信孝 小長谷悠紀、酒井佳永 櫻川幸恵、佐藤富雄 佐野美智子、塩月亮子 篠崎健司、篠原 靖 柴田眞美、副島善道 曾山 毅、臺 純子 高橋聖子、崔 勝溟 鶴田雅昭、富川淳子 中西太郎、中西 哲 中村 聡、野島一彦 板東充彦、深町浩祥 穂苅友洋、細川 淳 前場康介、松井理恵 マック、カレン、松畚くみ子 真辺美佐、水谷幸恵 宮岡佳子、宮崎圭子 宮崎正浩、宮津多美子 三輪健太郎、村上 理 村田あが、茂木一司 森まり子、矢野峰生 山澤成康、山田秀樹 横井由利、横堀応彦 吉澤京子、吉田さち 吉田信夫、渡邊大輔		
	プロゼミⅡ	1		1				
教養科目	人 文	文芸理論	2	10 単位 以上	1・2	春学期 秋学期	稲垣智花、神田浩一 奴田原諭	
		歴史理論	2		1・2	春学期 秋学期	岡山麻子、香坂直樹 原 正人	
		言語科学	2		1・2	春学期 秋学期	若狭 基道	
		記号論	2		1・2	秋学期	若狭 基道	
		日本現代史	2		1・2	秋学期	岡山 麻子	
		アジア現代史	2		1・2	秋学期	原 正人	
		ヨーロッパ現代史	2		1・2	春学期 秋学期	香坂 直樹	
		日本文学	2		1・2	春学期 秋学期	中島 輝賢 三村 友希	
		中国文学	2		1・2	秋学期	渡邊 登紀	
		英文学	2		1・2	春学期	設楽 靖子	

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考	
教養科目	人 文	ドイツ文学	2	10 単 位 以 上	1・2	春学期 秋学期	片岡 慎泰	
		フランス文学	2		1・2	春学期 秋学期	神田 浩一	
		ロシア文学	2		1・2	春学期 秋学期	木村 敦夫	
		西洋古典文学	2		1・2	春学期 秋学期	小島 和男 古澤 香乃	
		百人一首	2		1・2	春学期 秋学期	石井 正己 加美 甲多	
	社 会	異文化理解	2		1・2	春学期 秋学期	小池 知之 峰松 和子	
		地理学	2		1・2	秋学期	平澤 香	
		社会学	2		1・2	春学期 秋学期	佐藤 富雄	
		国際関係論	2		1・2	春学期	高橋 善隆	
		ボランティア論	2		1・2	秋学期	越智 方美	
		法学	2		1・2	秋学期	高橋 聖子	
		日本国憲法	2		1・2	春学期 秋学期	青山 豊	
		政治学	2		1・2	秋学期	高橋 善隆	
		経済学	2		1・2	春学期 秋学期	田中 秀実 米田 泰隆	
		家政学	2		1・2	秋学期	赤松 瑞枝	
		人 間	哲学		2	1・2	春学期	大西 正人
			倫理学		2	1・2	秋学期	大西 正人
			論理学		2	1・2	春学期	大西 正人
	認識論		2		1・2	春学期	須藤 孝也	
	心理学		2		1・2	春学期 秋学期	飯高 晶子 前場 康介	
	教育学		2		1・2	秋学期	秋山 純子	
	保育学		2		1・2	春学期	相楽真樹子	
	自 然	統計学	2		1・2	春学期	藤本 隆史	
		科学史	2		1・2	秋学期	小口 峰樹	
		情報科学	2		1・2	秋学期	松田 洋	
		数学	2		1・2	春学期	松田 洋	
		物理学	2		1・2	秋学期	三浦 和彦	
		地球科学	2		1・2	春学期	三浦 和彦	
		生物学	2		1・2	春学期	杉森 賢司	
		化学	2		1・2	秋学期	天海 弘	
		自然保護論	2		1・2	春学期	坂本 有希	
		生理学	2		1・2	秋学期	石塚 正敏	
		健康科学	2		1・2	春学期	水谷 幸恵	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考	
共通専門科目	環境心理学	2	選択	1・2	春学期	小林 美紀		
	コミュニティ心理学	2		1・2	春学期	山本 耕太		
	生涯学習概論	2		1・2	春学期 秋学期	牧野 修也		
	教育社会学	2		1・2	春学期	牧野 修也		
	人間関係論	2		1・2	春学期	橋本 秀美		
	社会調査法	2		1・2	秋学期	藤本 隆史		
	フィールドワーク方法論	2		1・2	秋学期	岡野宣勝ペリー		
	現代ジャーナリズム論	2		1・2	春学期 秋学期	室田 康子		
	イベント論	2		1・2	春学期	宮地 克昌		
社会人形成科目	講 義	花叢の教育とライフプラン・キャリアプラン	2	2単位	1	春学期 秋学期	佐藤 敦 石崎 裕子	
		パーソナリティを考える	2	選択	1・2	春学期	岩熊麻由美	
		「自分らしさ」を探る	2		1・2	秋学期	岩熊麻由美	
		対人関係のスキル	2		1・2	秋学期	宮崎 圭子	
		ストレス・マネジメント	2		1・2	春学期	鈴木 眞理	
		職業人のルールとモラル	2		1・2	秋学期	佐藤 敦	
		産業と職業	2		1・2	春学期	深町 珠由	
		マスコミとの付き合い方	2		1・2	秋学期	室田 康子	
	演 習	ソーシャルマナー	1		1単位	1	秋学期	
		ビジネス文章表現演習	1	選択	1・2	春学期 秋学期	飯田 勝啓	
		ディベート演習	1		1・2	秋学期	加藤 彰	
		自己表現演習	1		1・2	春学期 秋学期	責任者：坪原紳二 林 久子	
		プレゼンテーション演習	1		1・2	春学期	飯田 勝啓	
		キャリア基礎演習（グループワーク）	1		2	春学期	佐藤 敦	
		キャリア基礎演習（公務員・数的処理）Ⅰ	1		1・2	春学期	責任者：坪原紳二 伊藤 健生	
キャリア基礎演習（公務員・数的処理）Ⅱ	1	1・2	秋学期		責任者：坪原紳二 伊藤 健生			

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考		
社会人形成科目	演習	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅰ	1	選択	1・2	春学期	責任者：坪原紳二 山本 誠		
		キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅱ	1		1・2	秋学期	責任者：坪原紳二 山本 誠		
		キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅰ	1		1・2	春学期	責任者：坪原紳二 山本 武秀		
		キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅱ	1		1・2	秋学期	責任者：坪原紳二 山本 武秀		
		秘書技能演習	1		1・2	春学期 秋学期	責任者：中村 仁 柏原 麻美		
		簿記会計基礎演習Ⅰ	2		1・2	春学期	責任者：中村 仁 浜田 勝義		2限連続
		簿記会計基礎演習Ⅱ	2		1・2	秋学期	責任者：中村 仁 浜田 勝義		2限連続
		TOEIC特別演習Ⅰ	1		1・2	春学期 秋学期	瀬戸千尋、野上文子 M.ワークマン、渡辺玲子		
	実習	ボランティア実践A	2		1・2	春学期 秋学期	南里 隆宏		
体育実技科目	体育実技A	1	1・2	春学期 秋学期	水谷 幸恵				
	体育実技B	1	1・2	春学期 秋学期	南 明恵美				
	体育実技C	1	1・2	春学期 秋学期	水谷 幸恵				
	体育実技D	1	1・2	春学期 秋学期	南 明恵美				
	体育実技E(水泳)	1	1・2	春学期	水谷 幸恵				
	体育実技F(水泳)	1	1・2	春学期	水谷 幸恵				
	体育実技G	1	1・2	春学期	水谷 幸恵				
	体育実技H	1	1・2	春学期 秋学期	南 明恵美				

※選択したコース以外の外国語を履修した場合の取り扱いについて  
(英語の履修について)

- ①選択したコース以外の英語の履修は認めない。  
(フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語の履修について)
- ②Cコースを選択した者は、クラス指定されているフランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語以外の履修は認めない。
- ③Aコース又はBコースを選択した者は、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語のうち1外国語のみ履修することを認める。修得した単位が8単位に満たなくても全学共通科目の「必要を超えて履修した単位」として算入することができる。  
なお、選択したコース以外の外国語は、指定された順序で履修することを原則とする。

選択したコース	クラス指定科目		+	クラス指定以外の 仏語、独語、中国語、 朝鮮・韓国語	進級要件上の扱い
	英語	仏語、独語、中国語、 朝鮮・韓国語			
A	英語 A (16単位)		+	仏、独、中、朝鮮・韓国語のいずれか1外国語のみ(8単位)	8単位に満たなくても、全学共通科目の「必要を超えて修得した単位」として算入可。
B	英語 B (16単位)				
C	英語 (8単位)	仏、独、中、朝鮮・韓国語のいずれか1外国語のみ(8単位)			

### 全学共通科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
外国語科目	テーマで学ぶ英語（文化）Ⅰ	1	選択	3・4	春学期	香山はるの	
	テーマで学ぶ英語（文化）Ⅱ	1		3・4	秋学期	中尾 正史	
	テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅰ	1		3・4	春学期	クリストファー・プルスマス	
	テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅱ	1		3・4	秋学期	クリストファー・プルスマス	
	テーマで学ぶ英語（観光）Ⅰ	1		3・4	春学期	西田 晴美	
	テーマで学ぶ英語（観光）Ⅱ	1		3・4	秋学期	西田 晴美	
	テーマで学ぶ英語（社会問題）Ⅰ	1		3・4	春学期	小川 忠	
	テーマで学ぶ英語（社会問題）Ⅱ	1		3・4	秋学期	峰松 和子	
	テーマで学ぶ英語（メディア）Ⅰ	1		3・4	春学期	吉田 信夫	
	テーマで学ぶ英語（メディア）Ⅱ	1		3・4	秋学期	元町 辰雄	
	フランス語上級Ⅰ	1		3・4	春学期	伊藤 敬佑	
	フランス語上級Ⅱ	1		3・4	秋学期	未定	
	ドイツ語上級Ⅰ	1		3・4	春学期	阿部 一哉	
	ドイツ語上級Ⅱ	1		3・4	秋学期	阿部 一哉	
	中国語上級Ⅰ	1		3・4	春学期	安本 真弓	
	中国語上級Ⅱ	1		3・4	秋学期	安本 真弓	
	朝鮮・韓国語上級Ⅰ	1		3・4	春学期	金 順任	
	朝鮮・韓国語上級Ⅱ	1		3・4	秋学期	金 順任	
情報処理科目	コンピュータ・グラフィックス	1	選択	3・4	秋学期	田辺公一郎	
	デジタル・アニメーション	1		3・4	秋学期	松田 洋	
	デジタル編集	1		3・4	春学期	大久保博樹	
	アプリケーション・プログラミング	1		3・4	秋学期	田辺公一郎	
	Microsoft Office Specialist演習	1		3・4	春学期 秋学期	倉橋 節也	



区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考	
教養科目	人文	日本宗教論	2	4 単位以上	3・4	秋学期	大橋 幸泰	
		聖書学	2		3・4	春学期 秋学期	宮崎 修二	
		ヨーロッパ中世文学	2		3・4	春学期	泉谷 千尋	
		ミステリー文学	2		3・4	春学期 秋学期	香山はるの 妹尾新太郎	
		児童文学	2		3・4	春学期 秋学期	中川理恵子	
		ギリシア語とギリシア文化	2		3・4	春学期	小島 和男	
		ラテン語とローマ文化	2		3・4	秋学期	古澤 香乃	
		イタリア語とイタリア文化	2		3・4	春学期	一ノ瀬俊和	
		スペイン語とスペイン文化	2		3・4	春学期	武田 和久	
		ロシア語とロシア文化	2		3・4	春学期	加藤 百合	
	社会	ファッション論	2		3・4	春学期 秋学期	米今 由希子 横井 由利 深町 浩祥	
		ジェンダー論	2		3・4	春学期 秋学期	喜山 朝彦	
		刑事法	2		3・4	春学期	近藤佐保子	
		民事法	2		3・4	春学期	山里 盛文	
		労働法	2		3・4	春学期	水野 圭子	
		国際法	2		3・4	秋学期	兼頭ゆみ子	
		国際社会論	2		3・4	春学期	島田 顕	
		国際経済	2		3・4	春学期	伊藤由樹子	
	人間	深層心理学	2		3・4	春学期 秋学期	田中 究	
		精神病理学	2		3・4	春学期 秋学期	菅原ゆり子	
	自然	天文学	2		3・4	春学期	國司 眞	
		建築環境論	2		3・4	春学期 秋学期	橋本憲一郎 村田 あが	
		水産学	2		3・4	春学期	吉田 次郎	
		河川海洋学	2		3・4	春学期	吉田 次郎	
		農林科学	2		3・4	秋学期	高橋 克也	
		公衆衛生論	2		3・4	秋学期	石塚 正敏	
		ネットワーク論	2		3・4	春学期	高瀬 浩史	
	共通専門科目	家族心理学	2		選択	3・4	春学期	
マーケティング心理学		2	3・4	秋学期		伊東 裕貴		
教育学概論		2	3・4	春学期		秋山 純子		
近代家族論		2	3・4	春学期 秋学期		鈴木 明子		
男性学		2	3・4	秋学期		喜山 朝彦		
マーケティングコミュニケーション		2	3・4	春学期		横井 由利		
メディア環境論		2	3・4	秋学期		副島 善道		
プロダクトデザイン論		2	3・4	春学期 秋学期		高木 庸		

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考		
社会人形成科目	日本語演習	1	1単位以上	3	春学期 秋学期	加藤大鶴、小仲信孝 中島輝賢、野崎有以 三栖隆介、三村友希	日本漢字能力 検定2級以上 合格で「検定 資格（漢字検 定）」として 2単位を認定。 日本語検定2 級以上合格で 「検定資格（日本語検 定）」として 2単位を認定。		
	演 習	キャリア演習（公務員・数的処理）Ⅰ	1	選択	3・4	春学期	責任者：鍵屋 一 伊藤 健生		
		キャリア演習（公務員・数的処理）Ⅱ	1		3・4	秋学期	責任者：鍵屋 一 伊藤 健生		
		キャリア演習（公務員・法律）Ⅰ	1		3・4	春学期	責任者：鍵屋 一 吉原 誠		
		キャリア演習（公務員・法律）Ⅱ	1		3・4	秋学期	責任者：鍵屋 一 吉原 誠		
		キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅰ	1		3・4	春学期	責任者：鍵屋 一 高橋 義憲		
		キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅱ	1		3・4	秋学期	責任者：鍵屋 一 高橋 義憲		
		簿記会計演習Ⅰ	2		3・4	春学期	責任者：鍵屋 一 浜田 勝義		2限連続
		簿記会計演習Ⅱ	2		3・4	秋学期	責任者：鍵屋 一 浜田 勝義		2限連続
		ITパスポート演習Ⅰ	1		3・4	春学期	責任者：伊藤 穰 藤崎 和子		
		ITパスポート演習Ⅱ	1		3・4	秋学期	責任者：伊藤 穰 藤崎 和子		
		TOEIC特別演習Ⅱ	1		3・4	春学期 秋学期	峰松 和子		
		イベント検定演習	1		3・4	春学期 秋学期	小坂井 彰		
		ビジネス実務法務検定演習	1		3・4	春学期 秋学期	水野 圭子		
		色彩検定演習	1		3・4	春学期 秋学期	責任者：茂木一司 吉川京子、橋本実千代		
		実習	ボランティア実践B		2	3・4	春学期		
総合科目	総合科目（地域文化）	2	選択	3・4	春学期	岡野宣勝ペリー 塩月 亮子			
	総合科目（地域社会）	2		3・4	秋学期	石崎 裕 篠崎 健司			
	総合科目（日本とアジア）	2		3・4	春学期	岡山 麻子 熊本 史雄			
	総合科目（国際政治）	2		3・4	春学期	神山 伸弘 森 まり子			
	総合科目（国際経済）	2		3・4	春学期	櫻川 幸恵 山田 秀樹			
	総合科目（現代社会）	2		3・4	春学期	川島 京子 渡辺明日香			
	総合科目（観光）	2		3・4	秋学期	小関 孝子 鶴田 雅昭			
	総合科目（芸術と社会）	2		3・4	春学期	田中久美子 村田 あが			
	総合科目（人間と自然）	2		3・4	春学期	坂本 有希 宮崎 正浩			
	総合科目（生活と環境）	2		3・4	秋学期	横井 由利 深町 浩祥			
	総合科目（キャリア）	2		3・4	春学期	崔 勝溟 細川 淳			

## Ⅱ. 文学部

### (1) 文学部共通専門科目の履修

文学部共通専門科目は、文学部の学生の卒業に必要な学部専門科目の単位として算入することができます。

#### 文学部共通専門科目課程表【前期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
講義	英語実用文法	2	選択	1・2	秋学期	秋本 隆之	
	レトリック概論	2		1・2	春学期	中村 聡	
	言語学概論	2		1・2	春学期	阿部 一哉	
	芸術論	2		1・2	春学期	吉良 智子	
	造形論	2		1・2	春学期	柴田 眞美	
	色彩論	2		1・2	春学期 秋学期	柴田 眞美	
	装いの心理学	2		1・2	春学期	小出治都子	
	化粧の心理学	2		1・2	秋学期	小出治都子	
	図書館概論	2		1・2	春学期 秋学期	水谷 長志	
実習	芸術芸能実習（茶道）	1		1・2	春学期 秋学期	責任者：茂木一司 田原貴美子	
	芸術芸能実習（華道）	1		1・2	春学期 秋学期	責任者：茂木一司 浅野恵美子	
	芸術芸能実習（香道）	1		1・2	春学期 秋学期	大畑 芳子	

#### 文学部共通専門科目課程表【後期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
講義	演劇論	2	選択	3・4	秋学期	關 智子	
	言語哲学	2		3・4	秋学期	高谷 遼平	
	朗読法	2		3・4	春学期	八柄 順子	
	コミュニケーション心理学	2		3・4	春学期	伊波 和恵	
	情報文化史	2		3・4	春学期	本間 紀子	
	色彩象徴論	2		3・4	秋学期	田中久美子	
	図書・図書館史	2		3・4	秋学期	水谷 長志	
演習	情報サービス演習 A	1		3・4	春学期 秋学期	増田 元 長谷川幸代	

## (2) 文学部専門科目の履修

### 1. 人文学科専門科目

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論	8単位以上	
	研究入門	4単位	
	基礎実習	選択	
	資格科目	選択	
	文学部共通専門科目	選択	
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	各論	16単位以上	
	特殊講義	10単位以上	特殊講義、特殊演習及び実習の授業科目から、合計10単位以上を修得する。
	特殊演習		
	実習		
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
文学部共通専門科目	選択		
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、人文学科においては、後期課程生として修得した前期課程科目の総論6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位以上	

### 人文学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
総 論	日本文学概論	2	8 単 位 以 上	1・2	春学期	植田 恭代	
	日本文学史	2		1・2	秋学期	三村 友希	
	中国文学概論	2		1・2	春学期	渡邊 登紀	
	書道史	2		1・2	春学期	横田 恭三	
	書芸術の鑑賞	2		1・2	秋学期	横田 恭三	
	国語学概論	2		1・2	春学期	加藤 大鶴	
	創作論	2		1・2	秋学期	野崎 有以	
	物語論	2		1・2	春学期	稲垣 智花	
	シナリオ論	2		1・2	春学期	大木 一史	
	日本史概説A	2		1・2	春学期	泉 雅博	
	日本史概説B（近代）	2		1・2	秋学期	真辺 美佐	
	東洋史概説	2		1・2	秋学期	中村 威也	
	西洋史概説A	2		1・2	春学期	早川 理穂	
	西洋史概説B（近代）	2		1・2	春学期	早川 理穂	
	日本美術史（鑑賞を含む）A	2		1・2	春学期	矢島 新	
	日本美術史（鑑賞を含む）B	2		1・2	秋学期	矢島 新	
	西洋美術史（鑑賞を含む）A	2		1・2	春学期	剣持あずさ	
	西洋美術史（鑑賞を含む）B	2		1・2	秋学期	村田 宏	
	博物館概論	2		1・2	春学期 秋学期	村田 宏	
	文化人類学	2		1・2	秋学期	森谷裕美子	
	民俗学	2		1・2	春学期	鈴木 明子	
	考古学概説	2		1・2	春学期	古庄 浩明	
	哲学概論	2		1・2	秋学期	神山 伸弘	
	美学概論	2		1・2	春学期	副島 善道	
	国際関係学	2		1・2	秋学期	小宮山功一朗	
	日本外交史	2		1・2	春学期	伊藤 隆太	
比較文化概論	2	1・2	秋学期	森 まり子			
英米文学概論	2	1・2	秋学期	香山はるの			
研 究 入 門	人文学研究入門A*	2	4 単 位	2	春学期	植田 恭代	
	人文学研究入門B*	2		2	秋学期	加美 甲多	
	人文学研究入門C*	2		2	秋学期	小仲 信孝	
	人文学研究入門D*	2		2	秋学期	泉 雅博	
	人文学研究入門E*	2		2	春学期	真辺 美佐	
	人文学研究入門F*	2		2	秋学期	石田 信一	
	人文学研究入門G*	2		2	春学期	矢島 新	
	人文学研究入門H*	2		2	秋学期	剣持あずさ	
	人文学研究入門I*	2		2	春学期	森谷裕美子	
	人文学研究入門J*	2		2	春学期	神山 伸弘	
	人文学研究入門K*	2		2	春学期	小川 忠	
	人文学研究入門L*	2		2	秋学期	森 まり子	

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
基礎実習	書道基礎実習AⅠ（入門）	1	選択	1・2	春学期 秋学期	横田 恭三	
	書道基礎実習AⅡ（応用）	1		1・2	春学期 秋学期	津田 好一	
	書道基礎実習B（楷書）	1		1・2	春学期	津田 好一	
	書道基礎実習C（行書）	1		1・2	秋学期	伊藤 亜美	
	絵画基礎実習Ⅰ（入門）	1		1・2	春学期	柴田 眞美 茂木 一司	
	絵画基礎実習Ⅱ（応用）	1		1・2	秋学期	茂木 一司	
	デザイン基礎実習Ⅰ（入門）	1		1・2	春学期 秋学期	高木 茂木 庸 一司	
	デザイン基礎実習Ⅱ（応用）	1		1・2	秋学期	奥秋 由美	
	彫刻基礎実習Ⅰ（入門）	1		1・2	春学期	田中 隆史	
	彫刻基礎実習Ⅱ（応用）	1		1・2	秋学期	田中 隆史	
	工芸基礎実習Ⅰ（入門）	1		1・2	春学期	岩崎 裕純	
	工芸基礎実習Ⅱ（応用）	1		1・2	秋学期	柴田 眞美	
資格科目	教育原理	2	1・2	春学期 秋学期	鈴木 芳明		
	教育心理学	2	1・2	春学期 秋学期	本田 真		

\*印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室に問い合わせてください。

### 人文学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
各論	古代日本文学	2	16 単位 以上	3・4	秋学期	植田 恭代	
	中世日本文学	2		3・4	春学期	加美 甲多	
	近世日本文学	2		3・4	春学期	石井 正己	
	近代日本文学	2		3・4	春学期	小仲 信孝	
	漢文学	2		3・4	秋学期	加藤 大鶴	
	書論	2		3・4	春学期	横田 恭三	
	比較文学	2		3・4	春学期	濱田 寛	
	国語史	2		3・4	春学期	加藤 大鶴	
	国語音声学	2		3・4	秋学期	加藤 大鶴	
	日本語文章表現	2		3・4	秋学期	三栖 隆介	
	テキスト分析論	2		3・4	春学期	林 浩平	
	作家と表現	2		3・4	春学期	井上 優	
	日本の歴史と社会	2		3・4	秋学期	泉 雅博	
	日本文化史	2		3・4	春学期	泉 雅博	
	風俗史	2		3・4	秋学期	加美 甲多	
	中国文化史	2		3・4	春学期	中村 威也	
	現代日本社会	2		3・4	秋学期	真辺 美佐	
	現代アジア社会	2		3・4	春学期	小川 忠	
	ヨーロッパの歴史と社会	2		3・4	春学期	早川 理穂	
	西洋文化史	2		3・4	秋学期	高津 美和	
アメリカ史	2	3・4	春学期	柴田 史子			



区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
各 論	イスラム史	2	16 単位 以上	3・4	春学期	森 まり子	
	現代ヨーロッパ社会	2		3・4	春学期	香坂 直樹	
	現代アメリカ社会	2		3・4	秋学期	責任者：小川 忠 梶原みずほ	
	東洋美術史（鑑賞を含む）	2		3・4	秋学期	陸 偉栄	
	近代美術史（鑑賞を含む）	2		3・4	春学期	北澤 憲昭	
	文化財学	2		3・4	秋学期	古庄 浩明	
	東西美術交流	2		3・4	春学期	剣持あずさ	
	西洋図像学	2		3・4	秋学期	剣持あずさ	
	女性と文化	2		3・4	秋学期	森谷裕美子	
	文化と心理	2		3・4	春学期	森谷裕美子	
	文化と身体	2		3・4	秋学期	櫻木 晃彦	
	伝承文化論	2		3・4	春学期	森谷裕美子	
	文化の翻訳	2		3・4	春学期	香山はるの	
	現代思想	2		3・4	秋学期	三笠 俊哉	
	日本思想史	2		3・4	春学期	真辺 美佐	
	中国哲学史	2		3・4	秋学期	井ノ口哲也	
	西洋哲学史	2		3・4	春学期	三笠 俊哉	
	比較神話論	2		3・4	秋学期	于 曉飛	
	世界の宗教	2		3・4	春学期	宮崎 修二	
	国際文化交流	2		3・4	秋学期	小川 忠	
	多文化社会と民族問題	2		3・4	春学期	門間 卓也	
	地政学	2		3・4	春学期	責任者：小川 忠 梶原みずほ	
	国際連合	2		3・4	秋学期	小川 忠	
	国際協力論	2		3・4	春学期	小川 忠	
現代中東アフリカ論	2	3・4	秋学期	森 まり子			
特殊 講義	人文学特殊講義（日本文学）A	2	10 単位 以上	3・4	春学期	植田 恭代	
	人文学特殊講義（日本文学）B	2		3・4	春学期	加美 甲多	
	人文学特殊講義（日本文学）C	2		3・4	春学期	石井 正己	
	人文学特殊講義（日本文学）D	2		3・4	秋学期	小仲 信孝	
	人文学特殊講義（日本文学）E	2		3・4	秋学期	奴田原 諭	
	人文学特殊講義（日本史）A	2		3・4	秋学期	清水 光明	
	人文学特殊講義（日本史）B	2		3・4	春学期	岡山 麻子	
	人文学特殊講義（日本史）C	2		3・4	春学期	小泉優莉菜	
	人文学特殊講義（西洋史）A	2		3・4	秋学期	高津 美和	
	人文学特殊講義（西洋史）B	2		3・4	秋学期	香坂 直樹	
	人文学特殊講義（西洋史）C	2		3・4	秋学期	柴田 史子	
	人文学特殊講義（美術史）A	2		3・4	春学期	マック, カレン	
	人文学特殊講義（美術史）B	2		3・4	春学期	剣持あずさ	
	人文学特殊講義（美術史）C	2		3・4	秋学期	北澤 憲昭	
	人文学特殊講義（総合文化）A	2		3・4	春学期	鈴木 明子	
	人文学特殊講義（総合文化）B	2		3・4	秋学期	櫻木 晃彦	
	人文学特殊講義（総合文化）C	2		3・4	春学期	喜山 朝彦	
	人文学特殊講義（総合文化）D	2		3・4	秋学期	相澤 秀生	
	人文学特殊講義（総合文化）E	2		3・4	春学期	岡野宣勝ペリー	
	人文学特殊講義（現代思想・社会）A	2		3・4	秋学期	神山 伸弘	
	人文学特殊講義（現代思想・社会）B	2		3・4	秋学期	三笠 俊哉	
	人文学特殊講義（現代思想・社会）C	2		3・4	秋学期	三崎 和志	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
特殊講義	人文学特殊講義 (国際教養) A	2	10 単 位 以 上	3・4	春学期	小宮山功一郎	
	人文学特殊講義 (国際教養) B	2		3・4	春学期	加藤 百合	
	人文学特殊講義 (国際教養) C	2		3・4	春学期	森 まり子	
	人文学特殊講義 (国際教養) D	2		3・4	春学期	小宮山功一郎	
特殊演習	創作ライティング演習 A (物語)	1		3・4	秋学期	大木 一史	
	創作ライティング演習 B (シナリオ)	1		3・4	秋学期	大木 一史	
	創作ライティング演習 C (短歌)	1		3・4	春学期	寺尾登志子	
	創作ライティング演習 D (俳句)	1		3・4	秋学期	三栖 隆介	
	創作ライティング演習 E (評論・随筆)	1		3・4	春学期	北澤 憲昭	
実習	書道実習 A (草書)	1		3・4	春学期	森岡 隆	
	書道実習 B (隸書)	1		3・4	秋学期	横田 恭三	
	書道実習 C (篆書・篆刻)	1		3・4	春学期	横田 恭三	
	書道実習 D (仮名)	1		3・4	春学期	森岡 隆	
	書道実習 E (漢字仮名交じり)	1		3・4	秋学期	森岡 隆	
	書道実習 F (実用書法)	1		3・4	春学期	伊藤 亜美	
	絵画実習 A (洋画)	1		3・4	春学期	柴田 眞美	
	絵画実習 B (洋画)	1		3・4	春学期	柴田 眞美	
	絵画実習 C (日本画)	1		3・4	秋学期	柴田 眞美	
	絵画実習 D (特殊表現)	1		3・4	秋学期	柴田 眞美	
	デザイン実習 A (色彩構成)	1		3・4	春学期	奥秋 由美	
	デザイン実習 B (平面構成)	1		3・4	秋学期	奥秋 由美	
	デザイン実習 C (空間構成)	1		3・4	春学期	高木 庸	
	デザイン実習 D (視覚伝達デザイン)	1		3・4	秋学期	高木 大地	
	彫刻実習 A (塑像)	1		3・4	春学期	田中 隆史	
	彫刻実習 B (石膏)	1		3・4	秋学期	田中 隆史	
	彫刻実習 C (テラコッタ)	1		3・4	春学期	田中 隆史	
	彫刻実習 D (金属造形)	1		3・4	秋学期	岩崎 裕純	
	工芸実習 A (紙)	1		3・4	春学期	岩崎 裕純	
	工芸実習 B (木)	1	3・4	秋学期	岩崎 裕純		
工芸実習 C (空間演出)	1	3・4	春学期	柴田 眞美			
工芸実習 D (土)	1	3・4	秋学期	田中 隆史			
演習	人文学演習 I A *	1	1単位	3	春学期	石田信一、泉 雅博 植田恭代、小川 忠 加藤大鶴、加美甲多 神山伸弘、香山はるの 小仲信孝、林 浩平 剣持あずさ、村田 宏 森まり子、森谷裕美子 真辺美佐、矢島 新	
	人文学演習 I B *	1	1単位	3	秋学期		
	人文学演習 II A *	1	1単位	4	令和 4 (2022) 年度開講	演習 II Bは、 演習 II Aの修 得を履修の要 件とする。	
	人文学演習 II B *	1	1単位	4	令和 4 (2022) 年度開講		
卒業論文 研究	卒業論文・卒業研究 *	2	2単位	4	令和 4 (2022) 年度開講		

\*印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室に問い合わせてください。

## 2. 現代文化表現学科専門科目

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論	8単位以上	必修4単位を含む。
	研究入門	4単位	
	基礎実習	選択	
	文学部共通専門科目	選択	
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	各論	16単位以上	
	特殊講義	6単位以上	
	特殊演習	4単位以上	
	実習		
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
	文学部共通専門科目	選択	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。
合計修得単位数		66単位以上	

## 現代文化表現学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考	
総論	文化表現基礎論	2	2 単位	1	春学期	副島 善道		
	現代文化概論	2	2 単位	1	秋学期	三輪健太郎		
	ヴィジュアル・カルチャー概論	2	4 単位 以上	1・2	春学期	渡邊 大輔		
	現代社会と文化表現	2		1・2	春学期	佐藤 富雄		
	舞台芸術と身体表現	2		1・2	秋学期	川島 京子		
	ポピュラーカルチャー概論	2		1・2	春学期	吉田 信夫		
	現代メディア表現論	2		1・2	春学期	伊藤 穰		
	デザイン文化論	2		1・2	秋学期	高木 庸		
	ファッション文化論	2		1・2	秋学期	富川 淳子		
	現代アート論	2		1・2	秋学期	要 真理子		
研究入門	現代文化表現学研究入門A*	2		4 単位	2	春学期	富川 淳子	
	現代文化表現学研究入門B*	2			2	春学期	川島 京子	
	現代文化表現学研究入門C*	2	2		春学期	吉田 信夫		
	現代文化表現学研究入門D*	2	2		春学期	要 真理子		
	現代文化表現学研究入門E*	2	2		秋学期	三輪健太郎		
	現代文化表現学研究入門F*	2	2		秋学期	副島 善道		
	現代文化表現学研究入門G*	2	2		秋学期	渡邊 大輔		
	現代文化表現学研究入門H*	2	2		秋学期	佐藤 富雄		
基礎実習	映像表現基礎実習	1	選 択	1・2	春学期	森田 浩彰		
	デジタル表現基礎実習	1		1・2	春学期 秋学期	伊藤 穰		
	マンガ・イラスト制作基礎実習	1		1・2	秋学期	須田 浩介		
	ブック・デザイン基礎実習	1		1・2	春学期	高木 大地		
	アート&デザイン基礎実習	1		1・2	春学期	高木 大地		
	パフォーマンス基礎実習	1		1・2	春学期	杉原 邦生		
	写真表現基礎実習	1		1・2	春学期 秋学期	奥村 暢欣		

\*印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室にお問い合わせください。

現代文化表現学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
各論	文化表現とテクノロジー	2	16 単位以上	3・4	秋学期	打林 俊	
	文化表現の倫理	2		3・4	秋学期	齋藤 山人	
	文化創造における伝統と現代	2		3・4	春学期	青木 涼子	
	女性と文化表現	2		3・4	秋学期	鈴木 桜子	
	文化社会学	2		3・4	春学期	佐藤 富雄	
	アート・プロデュース論	2		3・4	春学期	關 智子	
	写真論	2		3・4	秋学期	武内 厚子	
	現代言語表現論	2		3・4	秋学期	林 浩平	
	ポピュラー音楽論	2		3・4	秋学期	吉田 信夫	
	映画論	2		3・4	秋学期	副島 善道	
	マンガ論	2		3・4	春学期	三輪健太郎	
	アニメーション論	2		3・4	春学期	渡邊 大輔	
	現代建築文化論	2		3・4	春学期	村田 あが	
	スポーツ文化論	2		3・4	秋学期	渡 正	
	コマーシャル表現論	2		3・4	春学期	金子 英之	
	デジタル表現論	2		3・4	秋学期	伊藤 穰	
	現代日本のダンスと演劇	2		3・4	秋学期	川島 京子	
	現代日本のアートと批評	2		3・4	春学期	要 真理子	
	現代日本のファッション	2		3・4	春学期	鈴木 桜子	
	現代日本のデザイン	2		3・4	秋学期	高木 庸	
特殊講義	現代文化表現学特殊講義（イメージ）A	2	6 単位以上	3・4	秋学期	渡邊 大輔	
	現代文化表現学特殊講義（イメージ）B	2		3・4	秋学期	溝尻 真也	
	現代文化表現学特殊講義（イメージ）C	2		3・4	秋学期	要 真理子	
	現代文化表現学特殊講義（身体）A	2		3・4	秋学期	木村 理子	
	現代文化表現学特殊講義（身体）B	2		3・4	春学期	富川 淳子	
	現代文化表現学特殊講義（身体）C	2		3・4	春学期	川島 京子	
	現代文化表現学特殊講義（ポピュラーカルチャー）A	2		3・4	秋学期	三輪健太郎	
	現代文化表現学特殊講義（ポピュラーカルチャー）B	2		3・4	春学期	東谷 護	
	現代文化表現学特殊講義（ポピュラーカルチャー）C	2		3・4	春学期	吉田 寛	
	現代文化表現学特殊講義（社会）A	2		3・4	秋学期	佐藤 富雄	
	現代文化表現学特殊講義（社会）B	2		3・4	秋学期	要 真理子	
	現代文化表現学特殊講義（社会）C	2		3・4	秋学期	木村 理子	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
特殊演習	ライティング特殊演習（メディア）A	1	4 単位 以上	3・4	春学期	山上 晴美	
	ライティング特殊演習（メディア）B	1		3・4	秋学期	山上 晴美	
	ライティング特殊演習（編集）A	1		3・4	春学期	富川 淳子	
	ライティング特殊演習（編集）B	1		3・4	秋学期	富川 淳子	
	ライティング特殊演習（情報発信）A	1		3・4	秋学期	大久保博樹	
	ライティング特殊演習（情報発信）B	1		3・4	秋学期	元永 純代	
	ライティング特殊演習（批評）A	1		3・4	春学期	元永 純代	
	ライティング特殊演習（批評）B	1		3・4	秋学期	北澤 憲昭	
実習	映像表現実習	1	4 単位 以上	3・4	春学期 秋学期	森田 浩彰	
	デジタル表現実習	1		3・4	春学期 秋学期	伊藤 穰 大久保博樹	
	マンガ・イラスト制作実習	1		3・4	春学期	須田 浩介	
	ブック・デザイン実習	1		3・4	秋学期	高木 大地	
	アート&デザイン実習	1		3・4	春学期 秋学期	高木 大地 高木 庸	
	パフォーマンス実習	1		3・4	春学期	杉原 邦生	
	写真表現実習	1		3・4	春学期 秋学期	奥村 暢欣	
演習	現代文化表現学演習ⅠA*	1	1単位	3	春学期	伊藤 穰、要真理子 川島京子、佐藤富雄 副島善道、高木 庸 富川淳子、三輪健太郎 吉田信夫、渡邊大輔	
	現代文化表現学演習ⅠB*	1	1単位	3	秋学期		
	現代文化表現学演習ⅡA*	1	1単位	4	令和4（2022）年度開講		
	現代文化表現学演習ⅡB*	1	1単位	4	令和4（2022）年度開講		
卒業論文 卒業研究	卒業論文・卒業研究*	2	2単位	4	令和4（2022）年度開講		演習ⅡBは、 演習ⅡAの修 得を履修の要 件とする。

\*印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室にお問い合わせください。

### 3. コミュニケーション文化学科専門科目

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論	6単位以上	
	研究入門	4単位	
	基礎演習	2単位	
	文学部共通専門科目	選択	
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	各論	18単位以上	各論および文学部共通専門科目と合わせて、合計18単位以上修得する。
	特殊講義	2単位以上	
	特殊演習	4単位以上	
	実習	2単位以上	
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
	文学部共通専門科目	選択	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。
合計修得単位数		66単位以上	

## コミュニケーション文化学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
総論	コミュニケーション文化概論	2	6 単位 以上	1・2	秋学期	未定	
	コミュニケーションの倫理	2		1・2	秋学期	小板橋靖夫	
	言語コミュニケーション論	2		1・2	春学期	穂苅 友洋	
	非言語コミュニケーション論	2		1・2	秋学期	穂苅 友洋	
	日本語コミュニケーション論	2		1・2	春学期	中西 太郎	
	英語コミュニケーション論	2		1・2	春学期	穂苅 友洋	
	異文化コミュニケーション論	2		1・2	秋学期	宮津多美子	
	多文化社会論	2		1・2	春学期	吉田 さち	
	マスコミ論	2		1・2	春学期	室田 康子	
	放送文化史	2		1・2	春学期	小板橋靖夫	
研究入門	コミュニケーション文化学研究入門A*	2	4 単位	2	春学期	マック, カレン	
	コミュニケーション文化学研究入門B*	2		2	春学期	中西 太郎	
	コミュニケーション文化学研究入門C*	2		2	春学期	中村 聡	
	コミュニケーション文化学研究入門D*	2		2	秋学期	吉澤 京子	
	コミュニケーション文化学研究入門E*	2		2	秋学期	小板橋靖夫	
	コミュニケーション文化学研究入門F*	2		2	秋学期	宮津多美子	
基礎演習	日本語コミュニケーションスキル(会話)	1	1単位	1	春学期 秋学期	金井 直己 未定	
	英語コミュニケーションスキル(会話)	1	1単位	1	春学期 秋学期	M. ワークマン マクラウド, コリン 宮津多美子	

\*印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室に問い合わせてください。

## コミュニケーション文化学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
各論	語用論	2	18 単位 以上	3・4	秋学期	中村 聡	各論と文学部 共通専門科目 と合わせて合 計18単位以上
	社会言語学	2		3・4	春学期	鎌水 兼貴	
	メディア言語論	2		3・4	秋学期	依田 真門	
	言語理解論	2		3・4	春学期	鎌水 兼貴	
	聴覚コミュニケーション論	2		3・4	春学期	小板橋靖夫	
	視覚コミュニケーション論	2		3・4	秋学期	吉良 智子	
	対人コミュニケーション論	2		3・4	春学期	鎌水 兼貴	
	現代コミュニケーション論	2		3・4	秋学期	吉田 さち	
	コミュニケーション障害論	2		3・4	春学期	永田 里美	
	シンボル表現論	2		3・4	秋学期	本間 紀子	
	世代別コミュニケーション論	2		3・4	春学期	依田 真門	
	ジェンダー・コミュニケーション論	2		3・4	春学期	成原 有貴	
	丁寧語・敬語研究	2		3・4	秋学期	中西 太郎	



区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考		
各論	英語コミュニケーション関係群	国際コミュニケーション論	2	18単位以上	3・4	春学期	中尾 正史		
		国際メディア論	2		3・4	秋学期	鈴木 武生		
		異文化研究	2		3・4	春学期	鈴木 武生		
		言語社会研究(欧米)	2		3・4	秋学期	中尾 正史		
		言語社会研究(アジア)	2		3・4	秋学期	荻野 千尋		
		世界若者事情	2		3・4	春学期	クリストファー・ブルスマス	授業使用言語は英語	
		世界英語事情	2		3・4	秋学期	中村 聡	授業使用言語は英語	
		世界教育事情	2		3・4	春学期	宮津多美子	授業使用言語は英語	
		世界マスコミ事情	2		3・4	秋学期	穂刈 友洋	授業使用言語は英語	
特殊講義	コミュニケーション文化学特殊講義(コミュニケーション論)	コミュニケーション文化学特殊講義(コミュニケーション論)	2	2単位以上	3・4	秋学期	マック, カレン		
		コミュニケーション文化学特殊講義(日本語コミュニケーション)	2		3・4	秋学期	鎌水 兼貴		
		コミュニケーション文化学特殊講義(英語コミュニケーション)	2		3・4	春学期	鈴木 武生		
特殊演習	日本語コミュニケーション関係群	実践日本語(文章表現)	1	4単位以上	3・4	春学期	吉田 さち		
		実践日本語(音声表現)	1		3・4	秋学期	金井 直己		
		実践日本語(発声法)	1		3・4	秋学期	八柄 順子		
		実践日本語(敬語)	1		3・4	春学期 秋学期	高橋 圭子		
		実践日本語(多読)	1		3・4	春学期	中西 太郎		
		実践日本語(場面別運用)	1		3・4	秋学期	永田 里美		
		実践日本語(グループディスカッション)	1		3・4	春学期	中西 太郎		
		実践日本語(コミュニケーション調査法)	1		3・4	秋学期	鎌水 兼貴		
		英語コミュニケーション関係群	実践英語(インターネット英語)		1	3・4	秋学期	マクラウド, コリン	
	実践英語(アニメ・マンガ英語)		1	3・4	秋学期	クリストファー・ブルスマス			
	実践英語(コマーシャル英語)		1	3・4	春学期	榊原かをり			
	実践英語(映画英語)		1	3・4	秋学期	榊原かをり			
	実践英語(歌詞英語)		1	3・4	春学期	宮津多美子			
	実践英語(料理・ファッション英語)		1	3・4	秋学期	クリストファー・ブルスマス			
	実践英語(スポーツ英語)		1	3・4	春学期	マクラウド, コリン			
	実践英語(多読)		1	3・4	春学期	宮津多美子			
	実習			手話	1	2単位以上	3・4	春学期 秋学期	高須 一美
		点字		1	3・4		春学期	原田 早苗	
アナウンス		1		3・4	秋学期		未定		
インタビュー		1		3・4	秋学期		小坂橋靖夫		

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
実 習	ナレーション	1	2 単 位 以 上	3・4	春学期	八柄 順子	
	プレゼンテーション	1		3・4	秋学期	永田 里美	
	朗読	1		3・4	秋学期	堀井 真吾	
	声優	1		3・4	春学期	堀井 真吾	
演 習	コミュニケーション文化学演習ⅠA*	1	1単位	3	春学期	中西太郎、中村 聡 穂苅友洋 マクラウド、コリン マック、カレン 宮津多美子 吉澤京子、吉田さち	
	コミュニケーション文化学演習ⅠB*	1	1単位	3	秋学期		
	コミュニケーション文化学演習ⅡA*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講		
	コミュニケーション文化学演習ⅡB*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講		
卒 業 研 究 文	卒業論文・卒業研究*	2	2単位	4	令和4(2022)年度開講		演習ⅡBは、 演習ⅡAの修 得を履修の要 件とする。

\*印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室にお問い合わせください。

## Ⅲ. マネジメント学部

### (1) マネジメント学部共通専門科目の履修

マネジメント学部共通専門科目は、マネジメント学部の学生の卒業に必要な学部専門科目の単位として算入することができます。

#### マネジメント学部共通専門科目【前期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
講義	マネジメント学入門	2	2単位	1	春学期	中西 哲	
	社会科学入門	2	選択	1・2	春学期	崔 汀我	
	環境経営学入門	2		1・2	秋学期	伊藤 由宣	
	女性の生活マネジメント	2		1・2	秋学期	林 葉子	
	ニュースで学ぶ現代社会	2		1・2	秋学期	澤野 次郎	
演習	実践ゼミナールA*	1	2単位	2	春学期 秋学期	赤松瑞枝、天海 弘 石渡尚子、禿あや美 許 伸江、郷香野子 齋田 統、櫻川幸恵 曾田修司、高橋聖子 崔 勝湊、中西 哲 林 亜美、深町浩祥 細川 淳、丸岡吉人 宮崎正浩、村上 理 山澤成康、山田秀樹 横井由利、横堀応彦	
	実践ゼミナールB*	1					
	インターンシップ*	2	2単位	2	春学期 秋学期	赤松瑞枝、天海 弘 石渡尚子、禿あや美 許 伸江、郷香野子 齋田 統、櫻川幸恵 曾田修司、高橋聖子 崔 勝湊、中西 哲 林 亜美、深町浩祥 細川 淳、丸岡吉人 宮崎正浩、村上 理 山澤成康、山田秀樹 横井由利、横堀応彦	

\*印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。

#### マネジメント学部共通専門科目【後期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
講義	マネジメント学	2	各学科の展開科目と合わせて26単位以上	3・4	春学期	中西 哲	
	マネジメントと女性リーダー	2		3・4	秋学期	佐藤 敦	
	エコビジネス論	2		3・4	秋学期	相楽 美穂	
	女性のキャリアデザイン	2		3・4	春学期	板越 正彦	
	リスクマネジメント論	2		3・4	秋学期	佐々木康浩	
	日本の財政	2		3・4	秋学期	木内 卓	
	ビジネス統計	2		3・4	春学期	責任者：郷香野子 永濱 利廣	

## (2) マネジメント学部専門科目の履修

### 1. マネジメント学科

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	基幹科目	6単位以上	選択必修4単位以上を含むマネジメント学科の基幹科目
	マネジメント学部 共通専門科目	6単位以上	「マネジメント学入門」2単位、「実践ゼミナールA」1単位、「実践ゼミナールB」1単位、「インターンシップ」2単位は必修
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	展開科目	26単位以上	
	マネジメント学部 共通専門科目		
	演習	4単位	
卒業論文・卒業研究		2単位	「卒業論文・卒業研究」2単位は必修
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位以上	

マネジメント学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
基幹科目 企業・公共・文化	企業マネジメント入門	2	4単位以上	1・2	春学期	杉本ゆかり	
	公共マネジメント入門	2		1・2	春学期	山田 秀樹	
	文化マネジメント入門	2		1・2	秋学期	責任者：郷香野子 山口 宏子	
	企業会計入門	2	6単位以上	1・2	秋学期	村上 理	
	マーケティング入門	2		1・2	春学期	郷 香野子	
	人的資源管理入門	2		1・2	秋学期	崔 勝溟	
	中小企業論入門	2		1・2	秋学期	許 伸江	
	コーポレートガバナンス入門	2		1・2	春学期	細川 淳	
	金融入門	2		1・2	春学期	櫻川 幸恵	
	経済学入門	2		1・2	春学期	山澤 成康	
	日本経済入門	2		1・2	秋学期	橋本 武敏	
	情報処理システム入門	2		1・2	秋学期	郷 香野子	
	私法入門	2		1・2	春学期	山里 盛文	
	民法入門	2		1・2	春学期	山里 盛文	
	憲法入門	2		1・2	秋学期	兼頭ゆみ子	
	行政学入門	2		1・2	春学期	堀内 匠	
	地方自治論入門	2		1・2	春学期	堀内 匠	
	文化とまちづくり入門	2		1・2	春学期	禿 あや美	
	NPO入門	2		1・2	秋学期	笠原 清志	
	アートビジネス入門	2		1・2	春学期	横堀 応彦	

マネジメント学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
展開科目 企業・公共・文化	経営史	2	学部共通専門科目(後期課程)と合わせて26単位以上	3・4	秋学期	崔 汀我	
	経営戦略論	2		3・4	秋学期	中西 哲	
	経営組織論	2		3・4	春学期	笠原 清志	
	グローバル経営論	2		3・4	秋学期	板越 正彦	
	マーケティング論	2		3・4	春学期	杉本ゆかり	
	人的資源管理論	2		3・4	秋学期	澤木 朋子	
	経営分析論	2		3・4	春学期	村上 理	
	国際会計論	2		3・4	秋学期	中村 亮介	
	起業論	2		3・4	秋学期	崔 汀我	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
展 開 科 目	ベンチャー経営論	2	学部共通専門科目 (後期課程)と合わせて26単位以上	3・4	春学期	許 伸江	
	オペレーションズ・リサーチ	2		3・4	秋学期	宮本 弘之	
	社会科学と最適化	2		3・4	秋学期	責任者：郷香野子 星野 卓也	
	グローバル化と金融	2		3・4	秋学期	櫻川 幸恵	
	証券論	2		3・4	秋学期	松澤 孝紀	
	ファイナンシャルプランニング	2		3・4	秋学期	松澤 孝紀	
	ビジネス倫理	2		3・4	春学期	佐々木康浩	
	マクロ経済学	2		3・4	秋学期	山澤 成康	
	ミクロ経済学	2		3・4	春学期	宮本 弘之	
	経済政策	2		3・4	春学期	米田 泰隆	
	企業経済学	2		3・4	秋学期	米田 泰隆	
	国際経済学	2		3・4	秋学期	中平 千彦	
	アジアの経済	2		3・4	春学期	米田 泰隆	
	労働経済学	2		3・4	秋学期	澤木 朋子	
	公共経済学	2		3・4	春学期	中平 千彦	
	情報処理システム	2		3・4	秋学期	高瀬 浩史	
	契約法制総論	2		3・4	秋学期	山里 盛文	
	契約法制各論	2		3・4	秋学期	山里 盛文	
	不動産法	2		3・4	春学期	山里 盛文	
	株式と法	2		3・4	春学期	高橋 聖子	
	コーポレートガバナンスと法	2		3・4	秋学期	高橋 聖子	
	事例で学ぶ憲法	2		3・4	春学期	兼頭ゆみ子	
	行政法	2		3・4	秋学期	青山 豊	
	女性と公共マネジメント	2		3・4	春学期	林 亜美	
	政策形成と政策評価	2		3・4	秋学期	鄭 智允	
	地方自治論	2		3・4	春学期	鄭 智允	
社会政策	2	3・4	秋学期	禿 あや美			
アーツマネジメント	2	3・4	秋学期	横堀 応彦			
文化の法制度	2	3・4	春学期	川瀬 真			
文化経済学	2	3・4	春学期	李 知映			
文化政策	2	3・4	春学期	禿 あや美			
文化政策の国際比較	2	3・4	春学期	嘉藤 笑子			
パフォーミングアーツと国際コミュニケーション	2	3・4	秋学期	林 英樹			
芸術文化とNPO	2	3・4	春学期	嘉藤 笑子			

区分	授 業 科 目	単 位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
展開科目 企業・公共・文化	企業メセナとフィランソロピー	2	学位 (学部共通専門科目 (後期課程)と合わ せて26単位以上)	3・4	春学期	荻原 康子	
	広報マネジメント	2		3・4	春学期	佐々木康浩	
	メディア芸術産業論	2		3・4	秋学期	大野はな恵	
	舞台芸術産業論	2		3・4	春学期	横堀 応彦	
	音楽芸術産業論	2		3・4	春学期	大野はな恵	
演 習	展開ゼミナールⅠA*	1	1単位	3	春学期	大野聖良、嘉藤笑子 禿あや美、許 伸江 郷香野子、齋田 統 櫻川幸恵、佐藤 敦 高橋聖子、崔 勝溟	展開ゼミナールⅡBは、展開ゼミナールⅡAの修得を履修の要件とする。
	展開ゼミナールⅠB*	1	1単位	3	秋学期	中西 哲、細川 淳 村上 理、元永純代 山澤成康、山田秀樹 横堀応彦	
	展開ゼミナールⅡA*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講		
	展開ゼミナールⅡB*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講		
卒業研究 卒業論文・	卒業論文・卒業研究*	2	2単位	4	令和4(2022)年度開講		

\*の科目は前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時はあらかじめ登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室にお問い合わせください。

## 2. 生活環境マネジメント学科専門科目

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	基幹科目	6単位以上	必修2単位を含む生活環境マネジメント学科の基幹科目
	マネジメント学部 共通専門科目	6単位以上	「マネジメント学入門」2単位、「実践ゼミナールA」1単位、「実践ゼミナールB」1単位、「インターンシップ」2単位は必修
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	展開科目	26単位以上	
	マネジメント学部 共通専門科目		
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位以上	

### 生活環境マネジメント学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
基幹科目	生活環境入門	2	2 単位	1	春学期	石塚 正敏	
	衣生活と環境	2	4 単位 以上	1・2	春学期	横井 由利	
	食生活と環境	2		1・2	春学期	石渡 尚子	
	住生活と環境	2		1・2	秋学期	赤松 瑞枝	
	環境倫理学	2		1・2	春学期	初井 まり	
	環境政策	2		1・2	秋学期	宮崎 正浩	
	地域経営	2		1・2	春学期	橋本憲一郎	



生活環境マネジメント学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考	
展 開 科 目	衣 食 住	衣服文化論	2	学 部 共 通 専 門 科 目 ( 後 期 課 程 ) と 合 わ せ て 26 単 位 以 上	3・4	春学期	関谷 麻美	
		食文化論	2		3・4	秋学期	大坂佳保里	
		居住文化論	2		3・4	春学期	村田 あが	
		ファッションデザイン	2		3・4	秋学期	関谷 麻美	
		フードデザイン	2		3・4	秋学期	大坂佳保里	
		インテリアデザイン	2		3・4	春学期	村田 あが	
		ファッションビジネス	2		3・4	春学期	深町 浩祥	
		フードビジネス	2		3・4	春学期	天海 弘	
		ファッション商品企画	2		3・4	秋学期	深町 浩祥	
		テキスタイル論	2		3・4	秋学期	深町 浩祥	
	社 会 生 活	食と健康	2		3・4	春学期	石渡 尚子	
		食の安全	2		3・4	秋学期	石渡 尚子	
		都市計画論	2		3・4	秋学期	橋本憲一郎	
		庭園と都市環境	2		3・4	秋学期	村田 あが	
		消費者問題	2		3・4	秋学期	天海 弘	
		消費者のための法律	2		3・4	春学期	赤松 瑞枝	
		消費経済論	2		3・4	春学期	高橋 克也	
		社会保障論	2		3・4	春学期	石塚 正敏	
		健康管理論	2		3・4	春学期	石塚 正敏	
		タウンマネジメント	2		3・4	秋学期	橋本憲一郎	
環 境 経 営	環境経済学	2	3・4	春学期	田中 秀実			
	環境法学	2	3・4	春学期	宮崎 正浩			
	地球環境と経営	2	3・4	秋学期	白鳥 和彦			
	資源・リサイクル論	2	3・4	春学期	相楽 美穂			
演 習	生活環境マネジメント学演習ⅠA*	1	1単位	3	春学期	赤松瑞枝、天海 弘 石塚正敏、石渡尚子 宮崎正浩、村田あが 横井由利		
	生活環境マネジメント学演習ⅠB*	1	1単位	3	秋学期			
	生活環境マネジメント学演習ⅡA*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講			
	生活環境マネジメント学演習ⅡB*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講			
卒業研究	卒業論文・卒業研究*	2	2単位	4	令和4(2022)年度開講			

\*の科目は前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時はあらかじめ登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室にお問い合わせください。

## IV. 観光コミュニティ学部

### (1) 観光コミュニティ学部共通専門科目の履修

観光コミュニティ学部共通専門科目は、観光コミュニティ学部の学生の卒業に必要な学部専門科目の単位として算入することができます。

#### 観光コミュニティ学部共通専門科目課程表【前期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
講義	むさしの学	2	選択	1・2	春学期	一條 三子	
	人口学	2		1・2	秋学期	佐藤龍三郎	
	社会調査入門	2		1・2	春学期	志田 哲之	
	社会をデザインする女性たち	2		1・2	秋学期	古川 晶子	
特殊演習	観光国家資格取得特殊演習A	1		1・2	春学期	高木 美和	

#### 観光コミュニティ学部共通専門科目課程表【後期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
講義	ぶんきょう学	2	選択	3・4	春学期	成澤 廣修	
	NPO・NGO論	2		3・4	秋学期	松井 理恵	
	取材学	2		3・4	秋学期	未定	
	イベント・コンベンション論	2		3・4	秋学期	森 直人	
特殊演習	プライダル・コーディネート特殊演習	1		3・4	秋学期	責任者：中村 仁 大藤ひとみ	
実習	観光コミュニティデザイン実践	2		3・4	秋学期	篠崎 健司	

#### 【社会調査士課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
社会調査士課程	A 社会調査入門	2	選択	1・2	春学期	志田 哲之	
	B 社会調査法	2		1・2	秋学期	藤本 隆史	「観光調査法」の内容を含む 《全学共通科目》
	C データの読み方	2		1・2	春学期	堀内 康史	
	D 社会統計学	2		1・2	秋学期	藤本 隆史	「観光統計解析」の内容を含む 《「統計学」：全学前期科目》
	E 多変量解析の基礎	2		3・4	春学期	藤本 隆史	【E・Fはどちらかを選択】
	F 質的調査法	2		3・4	秋学期	牧野 修也	【E・Fはどちらかを選択】
	G 社会調査実習 I	2		3・4	春学期	佐野美智子 牧野 修也	
社会調査実習 II	2	3・4	秋学期	佐野美智子 牧野 修也			

## (2) 観光コミュニティ学部専門科目の履修

### 1. 観光デザイン学科

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	基幹科目	10単位以上	必修6単位を含む。
	演習	2単位	
	観光コミュニティ学部 共通専門科目	選択	
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	展開科目	24単位以上	
	特殊演習	1単位以上	
	実習	1単位以上	
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
	観光コミュニティ学部 共通専門科目	選択	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位以上	

### 観光デザイン学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考	
基 幹 科 目	観光学入門	2	2単位	1	春学期	小長谷悠紀		
	観光デザイン入門	2	2単位	1	春学期	篠原 靖		
	経営学入門	2	2単位	1	秋学期	鶴田 雅昭		
	観光社会学	2	4 単 位 以 上	1・2	春学期	臺 純子		
	観光人類学	2		1・2	秋学期	塩月 亮子		
	観光地理学	2		1・2	秋学期	小長谷悠紀		
	観光経済学	2		1・2	春学期	渡邊 徹		
	観光ランドデザイン	2		1・2	春学期	村上 雅巳		
	観光経営論	2		1・2	秋学期	鶴田 雅昭		
	比較観光産業論	2		1・2	秋学期	河村 英和		
	観光交通論	2		1・2	春学期	曾山 毅		
	宿泊産業論	2		1・2	秋学期	小関 孝子		
	観光と情報社会	2		1・2	春学期	中村 仁		
演習	基礎ゼミナール（観光）	2		2単位	2	春学期	磯貝政弘、小関孝子 河村英和、小長谷悠紀 塩月亮子、篠原 靖 曾山 毅、臺 純子 鶴田雅昭、中村 仁 村上雅巳	学外実習を含む
						秋学期		

### 観光デザイン学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考	
展 開 科 目	グ ロ ー バ ル ツ ー リ ズ ム	グローバルツーリズム	2	24 単 位 以 上	3・4	秋学期	弓野 克彦	
		各国観光事情	2		3・4	春学期	庄司 正昭	
		観光メディア論	2		3・4	春学期	中村 仁	
		ホスピタリティデザイン	2		3・4	秋学期	小関 孝子	
		グローバル観光デザイン	2		3・4	春学期	小長谷悠紀	
		航空産業論	2		3・4	春学期	鶴田 雅昭	
		旅行産業論	2		3・4	春学期	篠原 靖	
		コンベンション管理（MICE）	2		3・4	秋学期	村上 雅巳	
		観光法規・倫理	2		3・4	秋学期	宮下 彰	
		観光とミナト	2		3・4	春学期	鶴田 雅昭	
	観 光 マ ネ ジ メ ン ト	経営財務論	2		3・4	春学期	松澤 孝紀	
		事業構想論	2		3・4	秋学期	渡辺 一浩	
		観光財務論	2		3・4	春学期	松澤 孝紀	
観光マーケティング		2	3・4	秋学期	磯貝 政弘			
観光とリスク		2	3・4	秋学期	吉口 克利			
	交通経営論	2	3・4	秋学期	曾山 毅			

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考	
展開科目	観光マネジメント	観光調査論	2	24 単位以上	3・4	春学期	磯貝 政弘	
		観光デザイナー論	2		3・4	秋学期	中村 仁	
		ホテルマネジメント	2		3・4	春学期	小関 孝子	
		リゾート経営論	2		3・4	秋学期	小長谷悠紀	
	観光コンテンツ	観光コンテンツ	2		3・4	春学期	河村 英和	
		祭りと文化	2		3・4	秋学期	塩月 亮子	
		ニューツーリズム	2		3・4	秋学期	臺 純子	
		温泉と保養	2		3・4	秋学期	山崎まゆみ	
		観光と鉄道	2		3・4	秋学期	曾山 毅	
		テーマパーク	2		3・4	秋学期	磯貝 政弘	
		世界遺産研究	2		3・4	春学期	責任者：中村 仁 宮澤 光	
		ヘリテイジツーリズム	2		3・4	秋学期	河村 英和	
		東京観光デザイン	2		3・4	秋学期	篠原 靖	
		特殊演習	観光デザイナー特殊演習		1	1 単位以上	3・4	
観光国家資格取得特殊演習B	1		3・4	春学期	高木 美和			
実習	キャビンアテンダント (CA) 実習	1	1 単位以上	3・4	春学期 秋学期	責任者：中村 仁 笠井 玲子		
	ホテルマネジャー・女将実習	1		3・4	春学期 秋学期	中岡 春人		
演習	観光デザイン演習ⅠA*	1	1単位	3	春学期	磯貝政弘、小関孝子 河村英和、小長谷悠紀 塩月亮子、篠原 靖		
	観光デザイン演習ⅠB*	1	1単位	3	秋学期	曾山 毅、臺 純子 鶴田雅昭、中村 仁 村上雅巳		
	観光デザイン演習ⅡA*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講			
	観光デザイン演習ⅡB*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講			
卒論	卒業論文・卒業研究*	2	2単位	4	令和4(2022)年度開講		演習ⅡBは、 演習ⅡAの修得を履修の要件とする。	

\*の科目は前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時はあらかじめ登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室にお問い合わせください。

## 2. コミュニティデザイン学科

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	基幹科目	10単位以上	必修6単位を含む。
	演習	2単位	
	資格科目	選択	
	観光コミュニティ学部 共通専門科目	選択	
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	展開科目	16単位以上	
	特殊講義	8単位以上	
	特殊演習	2単位以上	
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
	資格科目	選択	
	観光コミュニティ学部 共通専門科目	選択	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位以上	

### コミュニティデザイン学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考	
基 幹 科 目	社会学入門	2	2単位	1	秋学期	土居 洋平		
	コミュニティデザイン入門	2	2単位	1	春学期	篠崎 健司		
	フィールドスタディ入門	2	2単位	1	春学期	松井 理恵		
	地域社会学	2	4 単 位 以 上	1・2	春学期	土居 洋平		
	コミュニティ論	2		1・2	秋学期	坪原 紳二		
	環境と防災	2		1・2	春学期	鍵屋 一		
	ビジネスデザイン	2		1・2	秋学期	矢野 峰生		
	女性のライフサイクル	2		1・2	春学期	中野 洋恵		
	消費社会論	2		1・2	秋学期	佐野美智子		
演習	基礎ゼミナール（コミュニティ）*	2		2単位	2	春学期	石崎裕子、佐野美智子 篠崎健司、坪原紳二 土居洋平、松井理恵 矢野峰生	学外実習を含む
						秋学期		
資格 科目	データの読み方	2	選 択	1・2	春学期	堀内 康史		
	社会統計学	2		1・2	秋学期	藤本 隆史		

### コミュニティデザイン学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考	
展 開 科 目	グ ロ ー バ ル コ ミ ユ ニ テ ィ	コミュニティデザイン	2	16 単 位 以 上	3・4	春学期	鍵屋 一	
		コミュニティと行財政	2		3・4	春学期	鄭 智允	
		コミュニティ関連法規	2		3・4	秋学期	鍵屋 一	
		コミュニティと金融	2		3・4	秋学期	矢野 峰生	
		コミュニティと地場産業	2		3・4	春学期	辻井 啓作	
		コミュニティと住民参加	2		3・4	秋学期	柏原 沙織	
		インフラストラクチャー	2		3・4	春学期	坪原 紳二	
		コミュニティとまちづくり	2		3・4	秋学期	田中 暁子	
		都市の社会学	2		3・4	春学期	土居 洋平	
		近郊の社会学	2		3・4	秋学期	土居 洋平	
	ラ イ フ デ ザ イ ン	男女共同参画社会	2		3・4	春学期	瀬山 紀子	
		出会いの社会学	2		3・4	春学期	三具 淳子	
		コミュニティビジネス	2		3・4	春学期	矢野 峰生	
		家庭と仕事	2		3・4	春学期	瀬山 紀子	
		出産・育児のセーフティネット	2		3・4	春学期	三具 淳子	
		子どもと教育	2		3・4	秋学期	星野 敦子	
		介護と福祉	2		3・4	春学期	林 葉子	
老いと女性	2	3・4	秋学期	三具 淳子				

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
特 殊 講 義	コミュニティ論特殊講義 (24時間の文化)	2	8 単 位 以 上	3・4	秋学期	北井 渉	
	コミュニティ論特殊講義 (ネット社会)	2		3・4	秋学期	檀淵めぐみ	
	コミュニティ論特殊講義 (食文化)	2		3・4	秋学期	矢野 峰生	
	コミュニティ論特殊講義 (買い物)	2		3・4	秋学期	佐野美智子	
	コミュニティ論特殊講義 (プライダル)	2		3・4	春学期	責任者：中村 仁 大藤ひとみ	
	コミュニティ論特殊講義 (女性文化)	2		3・4	春学期	瀬山 紀子	
	コミュニティ論特殊講義 (学校)	2		3・4	秋学期	星野 敦子	
特 殊 演 習	コミュニティデザイン特殊演習 (コミュニケーション)	1	2 単 位 以 上	3・4	春学期 秋学期	篠崎 健司	
	コミュニティデザイン特殊演習 (編集・制作)	1		3・4	春学期 秋学期	糸井 夏希	
	コミュニティデザイン特殊演習 (プレゼンテーション)	1		3・4	春学期	新垣 夢乃	公務員試験対 策を含む
	コミュニティデザイン特殊演習 (文章理解・小論文)	1		3・4	春学期 秋学期	鍵屋 一	公務員試験対 策を含む
演 習	コミュニティデザイン演習ⅠA*	1	1単位	3	春学期	石崎裕子、佐野美智子 篠崎健司、坪原神二 土居洋平、松井理恵 矢野峰生	
	コミュニティデザイン演習ⅠB*	1	1単位	3	秋学期		
	コミュニティデザイン演習ⅡA*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講		演習ⅡBは、 演習ⅡAの修 得を履修の要 件とする。
	コミュニティデザイン演習ⅡB*	1	1単位	4	令和4(2022)年度開講		
卒論	卒業論文・卒業研究*	2	2単位	4	令和4(2022)年度開講		
資 格 科 目	多変量解析の基礎	2	選 択	3・4	春学期	藤本 隆史	
	質的調査法	2		3・4	秋学期	牧野 修也	
	社会調査実習Ⅰ	2		3・4	春学期	佐野美智子 牧野 修也	
	社会調査実習Ⅱ	2		3・4	秋学期	佐野美智子 牧野 修也	

\*の科目は前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時はあらかじめ登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室に問い合わせてください。



# V. 心理学部

## (1) 心理学部共通専門科目の履修

### 1. 臨床心理学科

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論	12単位以上	必修4単位含む
	研究入門	2単位	
	実習	2単位	「心理学実験」は、2限連続履修で2単位必修。
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件16単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目4単位以上を修得する。この4単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	各論	24単位以上	
	特殊演習	1単位以上	特殊演習・実習から1単位以上
	実習	1単位以上	心理実習B・心理実習Cから1単位以上
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。
合計修得単位数		66単位以上	

### 臨床心理学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
総論	心理学概論	2	2	1	春学期	板東 充彦	心理実習A・B 履修要件
	臨床心理学概論	2	2	1	秋学期	酒井 佳永	心理実習A・B 履修要件
	心理学研究法	2	8 単位以上	1・2	春学期	新井 雅	
	知覚・認知心理学	2		1・2	春学期	飯高 晶子	
	学習・言語心理学	2		1・2	春学期	前場 康介	
	発達心理学	2		1・2	秋学期	岩熊麻由美	
	社会・集団・家族心理学	2		1・2	秋学期	岩熊麻由美	
	心理学史	2		1・2	秋学期	松崎くみ子	
	教育・学校心理学	2		1・2	春学期	新井 雅	
	健康教育概論	2		1・2	秋学期	鈴木 眞理	
	人体の構造と機能及び疾病	2		1・2	春学期	宮岡 佳子	心理実習A 履修要件
研究入門	心理学統計法	2		2	2	春学期	宮崎 圭子
実習	心理学実験	2	2	2	春学期 秋学期	弘光健太郎	

### 臨床心理学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考
各論	神経・生理心理学	2	24 単位以上	3・4	春学期	酒井 佳永	
	視覚と芸術の心理学	2		3・4	秋学期	三浦久美子	
	感情・人格心理学	2		3・4	春学期	板東 充彦	
	言語心理学	2		3・4	春学期	河原 哲雄	
	思考心理学	2		3・4	春学期	飯高 晶子	
	道徳心理学	2		3・4	秋学期	阿部 洋子	
	青年期の発達心理学	2		3・4	春学期	小栗 貴弘	
	高齢者の心理学	2		3・4	秋学期	伊波 和恵	
	心理学的支援法	2		3・4	秋学期	板東 充彦	
	力動論的アプローチ	2		3・4	秋学期	田中 究	
	認知行動療法	2		3・4	春学期	宇野かおり	
	家族療法論	2		3・4	秋学期	田中 究	
	心理教育的アセスメント	2		3・4	秋学期	宮崎 圭子	
	健康心理アセスメント	2		3・4	春学期	菅原ゆり子	
	データ解析	2		3・4	春学期 秋学期	生駒 忍	
	実験計画法	2		3・4	春学期 秋学期	生駒 忍	
公認心理師の職責	2	3・4	春学期	宮崎 圭子			

区分	授業科目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担当教員	備考	
各論	関係行政論	2	24 単位以上	3・4	春学期	山口 豊一		
	臨床教育学	2		3・4	秋学期	東 宏行		
	学校臨床心理学	2		3・4	秋学期	小栗 貴弘		
	発達障害の心理と指導援助	2		3・4	秋学期	飯田 順子		
	キャリアカウンセリング	2		3・4	秋学期	前場 康介		
	健康・医療心理学	2		3・4	春学期	前場 康介		
	健康心理カウンセリング	2		3・4	秋学期	酒井 佳永		
	福祉心理学	2		3・4	秋学期	塚本 哲司		
	障害者・障害児心理学	2		3・4	春学期	生駒 忍		心理実習B 履修要件
	産業・組織心理学	2		3・4	春学期	岩熊麻由美		
	産業カウンセリング	2		3・4	春学期	宮崎 圭子		
	司法・犯罪心理学	2		3・4	秋学期	市村 彰英		
	精神疾患とその治療	2		3・4	春学期	宮岡 佳子		心理実習A 履修要件
	心身医学	2		3・4	秋学期	菅原ゆり子		
	子どものこころとからだ	2		3・4	春学期	久保田健夫		
特殊演習	心理演習	2	1 単位以上	3	春学期	新井 雅、小栗貴弘 宮岡 佳子	共同、2限連続、 心理実習A・B 履修要件	
	遊戯・芸術療法	1		3・4	秋学期	松崎くみ子		
	心理的アセスメント	1		3・4	春学期	酒井 佳永		
実習	健康心理アセスメント実習	2	1 単位以上	3・4	秋学期	前場 康介	2限連続	
	心理実習A	1		3・4	秋学期	酒井佳永、板東充彦 宮岡 佳子	共同（医療・ 保健領域）	
	心理実習B	1		3	秋学期	新井 雅、小栗貴弘 松崎くみ子	共同（学校・ 教育領域）	
	心理実習C	1		3	春学期	鈴木真理、前場康介 松浦 真澄	共同（福祉・ 司法領域）	
演習	臨床心理学演習ⅠA*	1	1	3	春学期	阿部洋子、新井 雅 小栗貴弘、酒井佳永 板東充彦、前場康介 松崎くみ子、宮岡佳子 宮崎圭子		
	臨床心理学演習ⅠB*	1	1	3	秋学期			
	臨床心理学演習ⅡA*	1	1	4	令和4(2022)年度開講			
	臨床心理学演習ⅡB*	1	1	4	令和4(2022)年度開講			
卒業論文 卒業研究	卒業論文・卒業研究*	2	2	4	令和4(2022)年度開講			

\*の科目は前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時はあらかじめ登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室にお問い合わせください。

## VI. 資格取得課程

「資格課程」は、大学を卒業する（学士の学位を取得する）ための授業体系とは別の、各種の資格を取得するための授業体系です。それぞれの資格は、基礎資格として学士の学位を有することを条件づけているので、学生は「大学を卒業する」ことを目指さなければなりません。

### 【本学で設置している資格取得課程】

- ①教職課程（中学校教諭一種免許状および高等学校教諭一種免許状を取得する者のための課程）
- ②司書課程（図書館の司書の資格を取得する者のための課程）
- ③司書教諭課程（学校図書館の司書教諭の資格を取得する者のための課程）
- ④学芸員課程（博物館において学芸員となるための資格を取得する者のための課程）
- ⑤社会調査士課程（社会調査協会の認定する社会調査の知識や技術を用いて社会事象をとらえる専門家としての資格を取得するための課程）

### 【学部学科で取得できる資格課程】

学 部	学 科	教職課程	司書課程	司書教諭課程	学芸員課程	社会調査士
文 学 部	人文学科	○	○	○	○	
	現代文化表現学科		○			
	コミュニケーション文化学科		○			
マネジメント学部	マネジメント学科		○			
	生活環境マネジメント学科		○			
観光コミュニティ学部	観光デザイン学科		○			○
	コミュニティデザイン学科		○			○
心 理 学 部	臨床心理学科		○			

教職課程、司書教諭課程、学芸員課程については、文学部人文学科に所属しない学生であっても「資格に関する授業科目の履修を許可する文学部基準」（学生便覧参照）に定める要件を満たしている場合は、履修を認められることがあります。ただし、各所属学科において履修すべき科目との重複、各課程の内容に関連する卒業論文・卒業研究の作成（4年次に「人文学演習ⅡA・ⅡB」の履修が必要）その他、履修には相当の困難がともなうことを承知しておいてください。

### ①教職課程

(a) 本学で取得できる免許状の種類

学 部	学 科	免 許 状		
		教 科	高等学校	中学校
文 学 部	人 文 学 科	国 語	一 種	一 種
		美 術	一 種	一 種
		書 道	一 種	

(b) 免許状の種類、基礎資格および最低修得単位数

免許の種類	基礎資格	法令に定める大学における最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位	28	27 (本学では29)	4
高等学校教諭一種免許状	学士の学位	24	23 (本学では25)	12

(イ) 「全学共通科目」における履修科目の指定

教職課程履修者は、「教育職員免許法施行規則第66条の6」により、上記の他、次の科目を選択しなければならない（前期課程中に修得すること）。

免許法施行規則に定める科目	対応する本学授業科目
日本国憲法 2単位	日本国憲法
外国語コミュニケーション 2単位	英語A I a、英語A I b、英語B I a、英語B I b、英語Ⅱから1科目
体育 2単位	体育実技A～Hから2科目
情報機器の操作 2単位	必修科目の「情報リテラシーⅠ、Ⅱ」で可

(ロ) 「教科及び教科の指導法に関する科目」

「教科及び教科の指導法に関する科目」は、教科にかかわる専門分野の学問的知識を得るための科目群であり、基本的には、当該免許教科を開設する学科の専門科目である。そのため、当該学科の卒業に必要な科目であり、かつ、当該教科の免許状を取得するためにも必要な科目、ということになる。

「教科及び教科の指導法に関する科目」は、最低でも中学一種免許で28単位、高等学校一種免許で24単位を修得しなければならないが、別表1の各表に示された「免許法施行規則に定める科目区分」の単位が、各欄にわたり必ず1単位以上含まれていなければならない。

(ハ) 「教育の基礎的理解に関する科目等」

「教育の基礎的理解に関する科目等」は、学校種、教科にかかわらず、教え方や生徒とのふれあいを重視し、教員として学校教育活動の遂行に直接資するための科目で、現在の学校教育の現場が抱えるさまざまな状況・課題に対して適切に対応でき、学校教育の担い手としての教員の役割・重要性をよく認識できる、総合的の力量のある人材の育成を目的としたものである。

具体的な科目名、含めることが必要な要件等については、別表2に示している。

(ニ) 「大学が独自に設定する科目」

教員として最小限必要な資質能力を確実に身につけさせるために「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等」の区分を設けるとともに、更に積極的に得意分野や個性の伸長を進めるために「大学が独自に設定する科目」の区分が設けられている。

したがって、必要を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」あるいは「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数をもって充足することもできるが、設置の趣旨を踏まえて意欲的に修得することが望まれる。

なお、本学で開設している科目については、別表3に示している。

# 別表1 教科及び教科の指導法に関する科目

## 中学校一種 国語

※1印の付いた科目については、文学部共通専門科目を参照すること。

施行規則に定める科目区分等		本学の開講・履修					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考	
			必	選			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。） (最低修得単位数) 各1単位以上	国語学概論	2		1・2	
			国語音声学	2		3・4	
			日本語文章表現	2		3・4	
			国語史 朗読法 ※1		2	3・4	
		日本文学概論	2		1・2		
		日本文学史	2		1・2		
		古代日本文学		2	3・4		
		中世日本文学		2	3・4		
		近世日本文学		2	3・4		
		近代日本文学		2	3・4		
		創作ライティング演習C (短歌)		1	3・4		
		創作ライティング演習D (俳句)		1	3・4		
		漢文学 (最低修得単位数) 各1単位以上	漢文学	2		3・4	
			中国文学概論		2	1・2	
		書道 (書写を中心とする。) (最低修得単位数) 各1単位以上	書道基礎実習A I (入門)	1		1・2	
			書道基礎実習A II (応用)	1		1・2	
			書道基礎実習B (楷書)		1	1・2	
			書道基礎実習C (行書)		1	1・2	
			書道史		2	1・2	
(最低修得単位数) 計28単位以上	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	国語科教育法A	2		3		
		国語科教育法B	2		3		
		国語科教材論A	2		3		
		国語科教材論B	2		3		

\*教科及び教科の指導法に関する科目計28単位以上修得する。

\*教科に関する専門的事項の各欄にわたり各1単位以上、計20単位以上を修得する。

\*開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。なお、※1印の付いた科目の担当教員については、文学部共通専門科目を参照すること。

\*国語科教育法B・国語科教材論Bは、それぞれのAの修得を履修の要件とする。

中学校一種 美術

施行規則に定める科目区分等		本学の開講・履修					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考	
			必	選			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	絵画（映像メディア表現を含む。） （最低修得単位数）各1単位以上	絵画基礎実習Ⅰ（入門） 絵画基礎実習Ⅱ（応用） 絵画実習A（洋画） 絵画実習B（洋画） 絵画実習C（日本画） 絵画実習D（特殊表現）	1	1 1 1 1 1 1	1・2 1・2 3・4 3・4 3・4 3・4	
		彫刻 （最低修得単位数）各1単位以上	彫刻基礎実習Ⅰ（入門） 彫刻基礎実習Ⅱ（応用） 彫刻実習A（塑像） 彫刻実習B（石膏） 彫刻実習C（テラコッタ） 彫刻実習D（金属造形）	1	1 1 1 1 1 1	1・2 1・2 3・4 3・4 3・4 3・4	
		デザイン（映像メディア表現を含む。） （最低修得単位数）各1単位以上	デザイン基礎実習Ⅰ（入門） デザイン基礎実習Ⅱ（応用） デザイン実習A（色彩構成） デザイン実習B（平面構成） デザイン実習C（空間構成） デザイン実習D（視覚伝達デザイン）	1	1 1 1 1 1	1・2 1・2 3・4 3・4 3・4 3・4	
		工芸 （最低修得単位数）各1単位以上	工芸基礎実習Ⅰ（入門） 工芸基礎実習Ⅱ（応用） 工芸実習A（紙） 工芸実習B（木） 工芸実習C（空間演出） 工芸実習D（土）	1	1 1 1 1 1 1	1・2 1・2 3・4 3・4 3・4 3・4	
		美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。） （最低修得単位数）20単位以上	美学概論 日本美術史（鑑賞を含む）A 日本美術史（鑑賞を含む）B 西洋美術史（鑑賞を含む）A 西洋美術史（鑑賞を含む）B 東洋美術史（鑑賞を含む）	2	2 2 2 2 2	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 3・4	これらの2科目から1科目2単位選択必修 これらの2科目から1科目2単位選択必修
（最低修得単位数）計28単位以上	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	美術科教育法A 美術科教育法B 美術科教材論A 美術科教材論B	2 2 2 2	3 3 3 3			

- \*教科及び教科の指導法に関する科目計28単位以上修得する。
- \*教科に関する専門的事項の各欄にわたり各1単位以上、計20単位以上を修得する。
- \*開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。
- \*美術科教育法B・美術科教材論Bは、それぞれのAの修得を履修の要件とする。

## 高等学校一種 国語

※1印の付いた科目については、文学部共通専門科目を参照すること。

施行規則に定める科目区分等		本学の開講・履修				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考
			必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項  (最低修得単位数) 各1単位以上	国語学概論	2		1・2	
		国語音声学	2		3・4	
		日本語文章表現	2		3・4	
		国語史		2	3・4	
		朗読法 ※1		2	3・4	
	国文学 (国文学史を含む。)  (最低修得単位数) 各1単位以上	日本文学概論	2		1・2	
		日本文学史	2		1・2	
		古代日本文学		2	3・4	
		中世日本文学		2	3・4	
		近世日本文学		2	3・4	
		近代日本文学		2	3・4	
		創作ライティング演習C (短歌)		1	3・4	
	創作ライティング演習D (俳句)		1	3・4		
	漢文学 (最低修得単位数) 各1単位以上	漢文学	2		3・4	
		中国文学概論		2	1・2	
(最低修得単位数) 計24単位以上	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	国語科教育法A	2		3	
		国語科教育法B	2		3	

\*教科及び教科の指導法に関する科目計24単位以上修得する。

\*教科に関する専門的事項の各欄にわたり各1単位以上、計20単位以上を修得する。

\*開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。なお、※1印の付いた科目の担当教員については、文学部共通専門科目を参照すること。

\*国語科教育法Bは、Aの修得を履修の要件とする。



高等学校一種 書道

施行規則に定める科目区分等		本学の開講・履修					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考	
			必	選			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	書道（書写を含む。）	書道基礎実習 A I（入門）	1		1・2	
			書道基礎実習 A II（応用）	1		1・2	
			書道基礎実習 B（楷書）	1		1・2	
			書道基礎実習 C（行書）	1		1・2	
			書道実習 A（草書）	1		3・4	
		書道実習 B（隸書）	1		3・4		
		書道実習 C（篆書・篆刻）	1		3・4		
		書道実習 D（仮名）	1		3・4		
		書道実習 E（漢字仮名交じり）	1		3・4		
		書道実習 F（実用書法）	1	1	3・4		
	書道史 (最低修得単位数) 各1単位以上	書道史	2		1・2		
	「書論、鑑賞」 (最低修得単位数) 各1単位以上	書論 書芸術の鑑賞		2 2	3・4 1・2	これらの2科目から1科目2単位選択必修	
	「国文学、漢文学」 (最低修得単位数) 20単位以上 (最低修得単位数) 各1単位以上	日本文学概論 漢文学 日本文学史 古代日本文学 中世日本文学 近世日本文学 近代日本文学 中国文学概論		2 2 2 2 2 2 2 2	1・2 3・4 1・2 3・4 3・4 3・4 3・4 1・2	これらの2科目から1科目2単位選択必修	
(最低修得単位数) 計24単位以上	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	書道科教育法A 書道科教育法B	2 2		3 3		

- \*教科及び教科の指導法に関する科目計24単位以上修得する。
- \*教科に関する専門的事項の各欄にわたり各1単位以上、計20単位以上を修得する。
- \*開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。
- \*書道科教育法Bは、Aの修得を履修の要件とする。

## 高等学校一種 美術

施行規則に定める科目区分等		本学の開講・履修				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考
			必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	絵画基礎実習Ⅰ（入門） 絵画基礎実習Ⅱ（応用） 絵画実習A（洋画） 絵画実習B（洋画） 絵画実習C（日本画） 絵画実習D（特殊表現） （最低修得単位数） 各1単位以上	1		1・2	
		彫刻基礎実習Ⅰ（入門） 彫刻基礎実習Ⅱ（応用） 彫刻実習A（塑像） 彫刻実習B（石膏） 彫刻実習C（テラコッタ） 彫刻実習D（金属造形） （最低修得単位数） 各1単位以上	1		1・2	
		デザイン基礎実習Ⅰ（入門） デザイン基礎実習Ⅱ（応用） デザイン実習A（色彩構成） デザイン実習B（平面構成） デザイン実習C（空間構成） デザイン実習D（視覚伝達デザイン） （最低修得単位数） 各1単位以上	1		1・2	
		美学概論 日本美術史（鑑賞を含む）A 日本美術史（鑑賞を含む）B 西洋美術史（鑑賞を含む）A 西洋美術史（鑑賞を含む）B 東洋美術史（鑑賞を含む） （最低修得単位数） 各1単位以上	2		1・2	これらの2科目から1科目2単位選択必修
（最低修得単位数） 計24単位以上	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	美術科教育法A 美術科教育法B	2 2		3 3	これらの2科目から1科目2単位選択必修

\*教科及び教科の指導法に関する科目計24単位以上修得する。

\*教科に関する専門的事項の各欄にわたり各1単位以上、計20単位以上を修得する。

\*開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。

\*美術科教育法Bは、Aの修得を履修の要件とする。

## 別表2 教育の基礎的理解に関する科目等

※1印の付いた科目については、文学部人文学科の専門科目を参照すること。

施行規則に定める科目区分等			本学の開講・履修					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	担当教員	単位数		履修年次	履修方法等
					必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 ※1	鈴木 芳明	2		1・2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	鈴木 芳明	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度及び教育法規	秋山 純子	2		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 ※1	本田 真	2		1	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援を必要とする生徒理解	小島 道生	2		1・2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	小宮山郁子	2		3	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中・10 高・8	道徳教育指導論	小宮山郁子	2		2	中免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法	秋山 純子 葉原 真洋	2		1・2	
	特別活動の指導法		(特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法)	—	—	—	—	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育の方法及び技術	茂木 一司 横田 恭三	2		1・2	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導	東 宏行 山口 豊一	2		1・2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談及びカウンセリング	品田 笑子	2		1・2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		(生徒指導及び進路指導)	—	—	—	—	
教育実践に関する科目	教育実習	中・5 高・3	教育実習（中・高）	令和4（2022）年度開講		5	4	中免は教育実習（中・高）必修。 高免は教育実習（中・高）もしくは教育実習（高）選択必修。 事前・事後指導1単位を含む
			教育実習（高）	令和4（2022）年度開講		3	4	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	令和4（2022）年度開講			4	
法令に定める最低修得単位数 中免27単位 高免23単位			本学の定める最低修得単位数 中免29単位 高免25単位					

(注) 1. 「教育の基礎的理解に関する科目等」については、教員資格取得に向けての必要不可欠な授業科目であることを踏まえて成績評価を実施し、再評価は行わない。ただし、所属学部の卒業要件と

なる科目（※1印を付した）については、成績の評価及び単位の認定に関する規程に従って再評価を実施する。

2. 「道徳教育指導論」は、中学校教諭一種免許状を取得する場合必修科目である。（高等学校教諭一種取得においては、大学が独自に設定する科目（別表3）参照のこと。
3. 中学校教諭一種免許状を取得する場合（中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状の両方を取得する場合も含む）については、「教育実習（中・高）」は必修科目である。高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合は、「教育実習（中・高）」もしくは「教育実習（高）」が選択必修科目である。
4. 中学校教諭一種免許状を取得する場合は、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（平成9年法律第90号）及び「同法施行規則」の施行により、大学における所要科目の履修のほか、特別支援学校及び社会福祉施設における7日間以上の「介護等体験」を行うことが義務付けられている。なお、高等学校教諭一種免許状のみを取得しようとする場合は、「介護等体験」を行う必要はない。
5. 「教育実習」
  - ・ 2年次終了時まで、前期課程で修得すべき「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位を修得していること。
  - ・ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目をすべて修得していること（P115）。
  - ・ 卒業見込み年度の学生であって、3年次秋学期末までに修得すべき「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をすべて修得した者でなければ履修できない。
  - ・ 3年次秋学期末までに当該教員免許の「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、「各教科の指導法」必修科目を含め中学校では18単位、高等学校では14単位以上修得していなければ実習校での教育実習を許可しない。また、所定の単位数を修得していても既修得科目の成績によっては、教育実習を認めない、あるいは実習校を斡旋しないことがある。
  - ・ 「教育実習」を履修する者は、最終学年次に採用を希望する都道府県・政令指定都市の教育委員会が実施する教員採用試験あるいは私立学校教員適性検査等を受験しなければならない。
  - ・ 「教育実習（中・高）」は3～4週間の実習、「教育実習（高）」は2週間の実習を行う。なお、実習期間中の就職活動は禁止する。就職活動を優先する者は履修しないこと。
  - ・ 「教育実習（中・高）」「教育実習（高）」いずれの場合も、事前・事後の指導の1単位を含んでいる。教育実習の単位を修得するには、この事前・事後の指導に出席することが要件となる。
  - ・ 事前・事後指導等は、下記のように2年次秋学期から実施される。「教育実習」のシラバスに当該年度の日程を記載してあるので、よく読んでおくこと。
    - 2年生：「介護等体験」事前指導（第1回）
    - 3年生：「介護等体験」事前指導（第2回）
    - 「教育実習」事前指導（第1回～第4回）
    - 4年生：「教育実習」事前指導（第5回・第6回）
    - 「教育実習」事後指導（第7回・第8回）
  - ・ 事前指導を1回でも欠席した場合は、「教育実習」を行うことができない。また、事後指導を欠席した場合は、実習そのものは終了していても、事前・事後指導1単位分の単位が不足となるため、「教育実習の単位」は修得できない。ただし、以下に該当するものは、事後に特別にガイダンスを受けることができる。
  - ① 忌引・病気等のため、教育実習担当教員へ届出書または診断書を提出し、許可を得たもの。
  - ② 欠席事由について、交通事情等の不可抗力によるもの、あるいは公的な証明書があるもの。
6. 教育実習や介護等体験による通常授業欠席届、教職課程履修上の各種届出書類は、提出締切り期日以降は、一切受理しないので注意すること。
7. 教職課程履修者は、4年次に取得を希望する教員免許状の教科に関連した文学部人文学科の「卒業論文・卒業研究」を提出しなければならないので、文学部人文学科以外の希望者も含めて、4年次に「人文学演習ⅡA・ⅡB」の履修が必要となる。
8. 「教職実践演習」は、教職課程取得に必要なすべての科目を修得済み、あるいは、その年次に修得見込みの学生でなければ履修できない。

### 別表3 大学が独自に設定する科目

- ※1印の付いた科目については、文学部共通専門科目を参照すること。
- ※2印の付いた科目については、全学共通科目を参照すること。
- ※3印の付いた科目については、文学部人文学科専門科目を参照すること。
- ※4印の付いた科目については、資格課程（学芸員課程）科目を参照すること。
- ※5印の付いた科目については、資格課程（司書教諭課程）科目を参照すること。

#### 中学校一種 国語

科目区分	授業科目	単位数			履修年次	履修方法等
		必	選			
		大学の開講・履修				
大学が独自に設定する科目	図書館概論 ※1		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（28単位）を超えて履修した単位数 + 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数  合計 4単位以上	
	生涯学習概論 ※2		2	1・2		
	博物館概論 ※3		2	1・2		
	博物館情報・メディア論 ※4		2	3・4		
	博物館教育論 ※4		2	3・4		
	教育学概論 ※2		2	3・4		
	学校経営と学校図書館 ※5		2	3・4		
	学習指導と学校図書館 ※5		2	3・4		
	情報メディアの活用 ※5		2	3・4		

#### 高等学校一種 国語

科目区分	授業科目	単位数			履修年次	履修方法等
		必	選			
		大学の開講・履修				
大学が独自に設定する科目	道徳教育指導論		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（24単位）を超えて履修した単位数 + 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数  合計 12単位以上	
	図書館概論 ※1		2	1・2		
	生涯学習概論 ※2		2	1・2		
	博物館概論 ※3		2	1・2		
	国語科教材論A		2	3・4		
	国語科教材論B		2	3・4		
	博物館情報・メディア論 ※4		2	3・4		
	博物館教育論 ※4		2	3・4		
	教育学概論 ※2		2	3・4		
	学校経営と学校図書館 ※5		2	3・4		
	学習指導と学校図書館 ※5		2	3・4		
	情報メディアの活用 ※5		2	3・4		

## 中学校一種 美術

科目区分	授業科目	単位数			履修年次	履修方法等
		単位数		履修年次		
		必	選			
大学が独自に設定する科目	図書館概論 ※ 1		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（28単位）を超えて履修した単位数 + 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数  合計 4単位以上	
	生涯学習概論 ※ 2		2	1・2		
	博物館概論 ※ 3		2	1・2		
	博物館情報・メディア論 ※ 4		2	3・4		
	博物館教育論 ※ 4		2	3・4		
	教育学概論 ※ 2		2	3・4		
	学校経営と学校図書館 ※ 5		2	3・4		
	学習指導と学校図書館 ※ 5		2	3・4		
	情報メディアの活用 ※ 5		2	3・4		

## 高等学校一種 美術

科目区分	授業科目	単位数			履修年次	履修方法等
		単位数		履修年次		
		必	選			
大学が独自に設定する科目	道徳教育指導論		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（24単位）を超えて履修した単位数 + 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数  合計 12単位以上	
	図書館概論 ※ 1		2	1・2		
	生涯学習概論 ※ 2		2	1・2		
	博物館概論 ※ 3		2	1・2		
	美術科教材論A		2	3・4		
	美術科教材論B		2	3・4		
	博物館情報・メディア論 ※ 4		2	3・4		
	博物館教育論 ※ 4		2	3・4		
	教育学概論 ※ 2		2	3・4		
	学校経営と学校図書館 ※ 5		2	3・4		
	学習指導と学校図書館 ※ 5		2	3・4		
	情報メディアの活用 ※ 5		2	3・4		

## 高等学校一種 書道

科目区分	授業科目	単位数			履修年次	履修方法等
		必	選			
大学が独自に設定する科目	道徳教育指導論		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（24単位）を超えて履修した単位数 + 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数 合計 12単位以上	
	図書館概論 ※ 1		2	1・2		
	生涯学習概論 ※ 2		2	1・2		
	博物館概論 ※ 3		2	1・2		
	博物館情報・メディア論 ※ 4		2	3・4		
	博物館教育論 ※ 4		2	3・4		
	教育学概論 ※ 2		2	3・4		
	学校経営と学校図書館 ※ 5		2	3・4		
	学習指導と学校図書館 ※ 5		2	3・4		
	情報メディアの活用 ※ 5		2	3・4		



## ②司書課程

司書の資格を取得するためには、「図書館法施行規則」に基づき、大学を卒業した上で別表4に定める科目の単位を修得しなければならない（平成24年4月1日より改正実施）。

司書課程については、「図書館が時代の要請に応じ、住民の学習ニーズ等に適切に対応し、情報化をはじめとする社会の急速な変化に的確に対応できるようにするために、図書館に置かれる専門的職員である司書の資質の向上に向け、要請内容の改善・充実を図る」という「図書館法施行規則」の趣旨に基づく司書課程科目を開設している。

別表4 図書館に関する科目

※1印の付いた科目については、全学共通科目を参照すること。  
 ※2印の付いた科目については、文学部共通専門科目を参照すること。

図書館法施行規則に定める 必要科目と単位			本学で開講されている 授業科目と単位		履修 年次	開講期	担当教員	
必修科目 (甲群)	基礎科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論 ※1	2	1・2	春学期 秋学期	牧野 修也
		図書館概論	2	図書館概論 ※2	2	1・2	春学期 秋学期	水谷 長志
		図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2	1・2	春学期 秋学期	水谷 長志
		図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	3・4	春学期 秋学期	水谷 長志
	図書館サービスに関する科目	児童サービス論	2	児童サービス論	2	3・4	春学期 秋学期	中川理恵子
		図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	1・2	春学期 秋学期	長谷川幸代
		情報サービス論	2	情報サービス論	2	1・2	春学期 秋学期	水谷 長志
		情報サービス演習	2	情報サービス演習A ※2	1	3・4	春学期 秋学期	長谷川幸代 増田 元
	情報サービス演習B			1	3・4	春学期 秋学期	増田 元 中川理恵子	
	図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	1・2	春学期 秋学期	佐藤 正恵
		情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	1・2	春学期 秋学期	長谷川幸代
		情報資源組織演習	2	情報資源組織演習A	1	3・4	春学期 秋学期	長谷川幸代 三澤 勝己
				情報資源組織演習B	1	3・4	春学期 秋学期	長谷川幸代
	選択科目 (乙群)	2科目選択	図書・図書館史	1	図書・図書館史 ※2	2	3・4	秋学期
図書館基礎特論			1	図書館基礎特論	1	3・4	春学期	水谷 長志
図書館サービス特論			1	図書館サービス特論	1	3・4	秋学期	長谷川幸代
図書館情報資源特論			1	図書館情報資源特論	1	3・4	秋学期	長谷川幸代
図書館施設論			1	図書館施設論	1	3・4	春学期	水谷 長志

- (注) 1. 情報資源組織演習A・Bを履修するには、情報資源組織論を修得することが望ましい。  
 2. 情報サービス演習A・Bを履修するには、情報サービス論を修得することが望ましい。  
 3. 「司書」の資格には、免許状の類はない。卒業後、有資格者であることを証明する必要の生じた者には、図書館に関する科目の単位修得証明書を発行する。  
 4. 「図書館に関する科目」については再評価は行わない。ただし、所属学部卒業要件となる科目（※1印及び※2印を付した科目）については、成績の評価及び単位の認定に関する規程に従って再評価を実施する。



### ③司書教諭課程

司書教諭課程は、学校図書館運営の中心となる司書教諭の資格を取得するための課程であり、「学校図書館司書教諭講習規程」に基づき、「教職課程」を取得した上で、さらに別表5に定める科目と単位を修得しなければならない。

司書教諭には、学校図書館が学校の教育活動を支えるための中心として、情報化、国際化の進展等に対応してさらに高機能・多機能化するとともに、健康的な快適な学習空間を創出し、生涯学習時代にふさわしいさまざまな役割を果たすことが求められており、読書活動等を通じて児童生徒の豊かな人間性の育成に関する見識、学校図書館の経営能力、時代の変化に迅速に対応できる情報教育の担い手としての力量や柔軟性、知的探究心、教育課程の展開と各種資料の活用に対する深い理解と見識、児童生徒や教師、地域の人々とのコミュニケーション能力など、多様な資質を備えることが必要とされている。

履修許可条件

- 一. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目をすべて修得していること (P115)
- 二. 前期課程において修得すべき「教育の基礎的理解に関する科目」をすべて修得していること (P121)
- 三. 一定の「教科及び教科の指導法に関する科目」を6単位以上修得していること (P116～120)

### 別表5 司書教諭に関する科目

学校図書館司書教諭講習規程に定める必修科目と単位		本学で開講されている授業科目と単位		履修年次	開講期	担当教員
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	3・4	春学期	三澤 勝己
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	3・4	春学期	三澤 勝己
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	3・4	秋学期	三澤 勝己
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	3・4	春学期	三澤 勝己
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	3・4	秋学期	水谷 長志

- (注) 1. 本学開設科目はすべて必修である。
2. 司書教諭の修了証書は文部科学大臣が授与する。本学の学生については、大学が「司書教諭講習書類参加」という形で一括申請する。(例年6～7月頃に実施される。)
3. 3年次終了までに上記のすべての科目を修得した者については、4年次に「司書教諭講習書類参加」の申請を行うことで、卒業と同時に修了証書を取得することができる。ただし、その場合、修了証書の効力は、教職の免許状を取得した時点から生じることになるので注意する必要がある。
4. 「司書教諭に関する科目」については再評価は行わない。

#### ④学芸員課程

学芸員になることのできる資格を取得するには、「博物館法施行規則」に基づき、学士の学位を取得（大学を卒業）した上で、別表6に定める科目の単位を修得しなければならない（平成24年4月1日より改正実施）。

学芸員課程については、「学芸員の資質の向上に向け、人々の生涯学習への支援を含め博物館に期待されている諸機能の強化及び情報化等の時代の変化に的確に対応する博物館運営の充実の観点から、その養成に係る教育内容・教育方法の改善・充実を図る」という「博物館法施行規則」の趣旨に基づく学芸員課程を開設している。

**別表6 博物館に関する科目**

※1印の付いた科目については、全学共通科目を参照すること。

※2印の付いた科目については、文学部人文学科専門科目を参照すること。

博物館法施行規則に定める 必要科目と単位		本学で開講されている 授業科目と単位		履修 年次	開講期	担当教員	
必修 科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論 ※1	2	1・2	春学期 秋学期	牧野 修也
	博物館概論	2	博物館概論 ※2	2	1・2	春学期 秋学期	村田 宏
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	3・4	春学期 秋学期	村田 宏
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	3	春学期 秋学期	増野 恵子
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	3	春学期 秋学期	村松 裕美
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	3	秋学期	新井 久代
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	3	春学期 秋学期	新井 久代
	博物館教育論	2	博物館教育論	2	3	春学期 秋学期	降旗千賀子
	博物館実習	3	博物館実習A	1	4	令和4（2022）年度開講	
		博物館実習B	1	4			
		博物館実習C	1	4			

本学で開設されている授業科目			単位	履修年次	担当教員
選 択 科 目	文化史	日本文化史	2	3・4	文学部人文学科の 専門科目を 参照すること。
		中国文化史	2	3・4	
		西洋文化史	2	3・4	
		日本の歴史と社会	2	3・4	
	美術史	日本美術史(鑑賞を含む)A	2	1・2	
		日本美術史(鑑賞を含む)B	2	1・2	
		西洋美術史(鑑賞を含む)A	2	1・2	
		西洋美術史(鑑賞を含む)B	2	1・2	
		東洋美術史(鑑賞を含む)	2	3・4	
		近代美術史(鑑賞を含む)	2	3・4	
		東西美術交流	2	3・4	
	民俗学	民俗学	2	1・2	
		文化人類学	2	1・2	
		伝承文化論	2	3・4	
	その他	考古学概説	2	1・2	
		文化財学	2	3・4	

- (注) 1. 選択科目は、各科目名左欄の4つの系列から3系列以上にわたり、各系列よりそれぞれ4単位以上の計12単位以上を修得しなければならない。
2. 「博物館実習」
- ・2年次終了時まで、前期課程で修得すべき「博物館に関する科目」の単位をすべて修得していること。
  - ・博物館実習Cは、博物館実習Bの修得を履修の要件とする。
  - ・卒業見込み年度の学生であって、3年次終了までに「博物館経営論」を除く必修科目のすべての単位を修得した者でなければ履修できない。
- また、4年次で「博物館実習A～C」を履修するためには、3年終了時まで実習希望館別に、下記の表の要件も必要となるので注意すること。なお、下記の要件のほかに行える限り「文化財学」も履修すること。

博物館の専攻分野		美術系博物館	歴史・民俗系博物館
文学部人文学科で 修得すべき授業科目	1 ～ 2 年	日本美術史(鑑賞を含む)A	民俗学
		日本美術史(鑑賞を含む)B	文化人類学
		西洋美術史(鑑賞を含む)A	日本史概説A
		西洋美術史(鑑賞を含む)B	日本史概説B(近代)
		芸術論	東洋史概説
		書芸術の鑑賞	考古学概説
	3 ～ 4 年	近代美術史(鑑賞を含む)	日本文化史
		西洋図像学	日本の歴史と社会
		東西美術交流	伝承文化論

3. 学芸員課程履修者は、4年次に当該専攻分野に関連する文学部人文学科の卒業論文・卒業研究（演習科目に含まれる時は、これを含む）を履修しなければならない（文学部人文学科以外の希望者を含めて、4年次に「人文学演習ⅡA・ⅡB」の履修が必要となる）。
4. 「学芸員になることのできる資格」には、免許状の類はない。卒業後、有資格者であることを証明する必要の生じた者には、博物館に関する科目の単位修得証明書を発行する。
5. 「博物館に関する科目」の必修科目については再評価は行わない。ただし、所属学部 of 卒業要件となる科目（※1印及び※2印を付した科目）については成績の評価及び単位の認定に関する規程に従って再評価を実施する。

### ⑤社会調査士課程

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、人々の考え方や行動、マーケットの動きなどを読み解く「調査のエキスパート」であり、一般社団法人社会調査協会が認定する資格である。同協会は、社会調査士資格制度に参加する240以上の大学・学部等の教育組織と協力関係を構築し、日本社会学会、日本教育社会学会、日本行動計量学会等の学術団体と密接な連携をはかりながら活動している。

社会調査士課程は協会の定めるカリキュラムに準拠し、資格取得のための必修6科目および選択2科目を修得しなければならない。なお、必修科目のうち「社会調査入門」は学部共通専門科目、「社会調査法」は全学共通科目として開講する。

別表7 社会調査士に関する科目

協会の定めるカリキュラム	平成29年度以降 本学開講科目	必修 単位	選択 単位	履修 年次	備 考
【A】 社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査入門	2		1・2	学部共通専門科目
【B】 調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法	2		1・2	全学共通科目
【C】 基本的な資料とデータの分析に関する科目	データの読み方	2		1・2	コミュニティ デザイン学科 専門科目  * = いずれか 1科目を選択必修
【D】 社会調査に必要な統計学に関する科目	社会統計学	2		1・2	
【E】 多変量解析の方法に関する科目	多変量解析の 基礎*		2	3・4	
【F】 質的な調査と分析の方法に関する科目	質的調査法*		2	3・4	
【G】 社会調査を実際に経験し学習する科目	社会調査実習Ⅰ	2		3・4	
	社会調査実習Ⅱ	2		3・4	

- 注) 1. 科目の履修順序に決まりはないが、A科目の「社会調査入門」から始めると、段階的に理解を進めることができる。
2. G科目の「社会調査実習Ⅰ」と「社会調査実習Ⅱ」は、同じ教員が担当するクラスを履修すること。ⅠとⅡをセット履修することが資格取得の要件である。また、G科目は授業時間外の作業が多く、秋学期末は報告書を作成するので、就職活動や卒業論文作成との兼ね合いを考慮し、履修時期を決めることが望ましい。
3. 3年次の6月と10月に社会調査士（キャンディデイト）資格申請ができる。申請時までA～Gに対応した科目から3科目以上の単位を取得し、かつ、3年次に履修中の科目を合計すると5科目以上になることが申請要件で、資格認定手数料が必要となる。
4. 社会調査士資格の取得は、卒業時となる。単位取得・卒業を証明する書類と、審査・認定手数料が必要となる。

